参考資料

1. 策定経緯
2. 策定体制
3. アンケート調査結果
4. リファレンス事業
5. 観光統計調査手法検討資料
6. 観光統計調査票

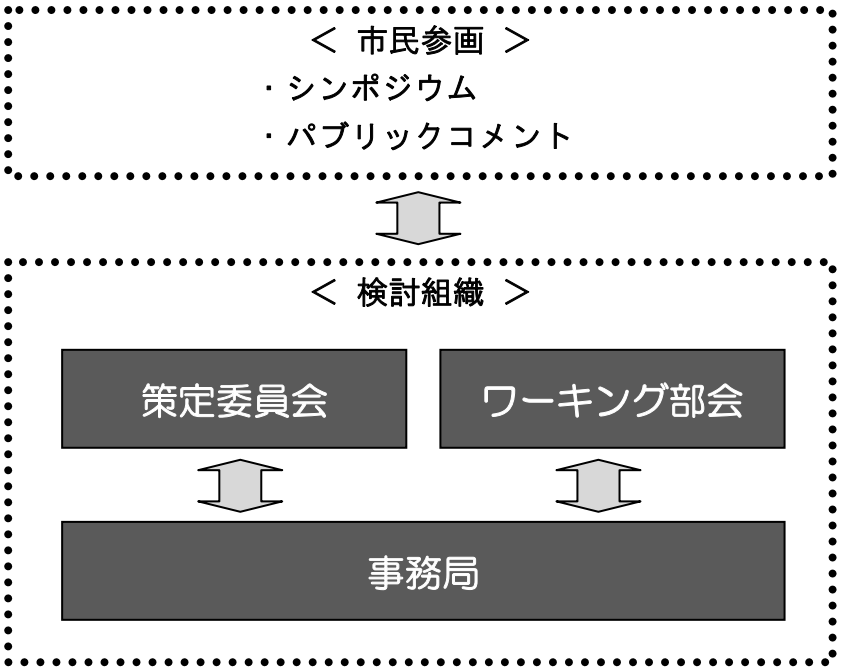
1. 策定経緯

策定においては、公募による市民委員を含めた「南砺市交流観光まちづくりプラン策定委員会」を設置するとともに、若手委員を中心とした「ワーキング部会」を設置して、**実施を視野に入れた**具体的な事業の協議・検討を進めました。また、講演会やシンポジウムの開催、パブリックコメントの実施を行い、より多くの市民の参画を促進し、**市民協働**によるプランの策定を推進しました。

日程		内容等	市民	議会	策定委員会	ワーキング部会		
						情報発信	魅力づくり	おもてなし
平成24年	7月	・委員の紹介、委嘱、委員長の選出 ・プラン策定の趣旨と今後の進め方 ・これまでの観光の取り組みと今後の課題のまとめ			第1回 (7/26)			
	8月	・委員の紹介とプラン策定の趣旨 ・既往の取り組みのまとめ (マスタープラン・アンケート調査結果　等) ・各ワーキング部会の検討テーマと今後の進め方	講演会 (8/20)			第1回全体会 (8/27)		
	9月	**「交流観光まちづくりプラン」原案について** ・具体的戦略、基本事業の検討				第1回 (9/25)	第1回 (9/11)	第1回 (9/18)
	10月	・アドバイザーによる討議 ・具体的事業、スタートアップ事業の検討・選定				第2回 (10/10) 第3回 (10/26)	第2回 (10/11)	第2回 (10/25) 第3回 (10/30)
	11月	・推進戦略、基本的事業についての審議 ・スタートアップ事業の確認、検討、審議 ・今後のスケジュールの確認			第2回 (11/15)		第3回 (11/8)	
	12月	・「交流観光まちづくりプラン報告書」素案の作成						
平成25年	1月	・「交流観光まちづくりプラン報告書」素案の作成		中間報告 (1/8)	第3回 (1/29)	第2回全体会 (1/24)		
	2月	**「交流観光まちづくりプラン」最終案について** ・基本戦略、具体的事業全体の討議 ・実施に向けて	フォーラム (2/16) パブリックコメント (2/16～3/7)	全員協議会 (2/13) 産業建設協議会 (2/22)				
	3月	・調整、修正、審議 **「交流観光まちづくりプラン」策定**	プラン公表 (3/18)	全体協議会 (3/18)	第４回 (3/16)			

2. 策定体制

１．実施体制



２．構成と役割

①策定委員会

【役　割】交流観光まちづくりプラン案の策定

【委員長】学識経験者

【構成員】観光関連団体、関係団体、公募市民

②ワーキング部会

【役　割】交流観光まちづくりプランの計画・事業内容の検討

【構成員】観光関連団体、関係団体

【アドバイザー】

③事務局

【役　割】委員会運営、資料作成などの事務的支援

【構成員】観光課、コンサルタント（株式会社　上智）

３．委員名簿

①策定委員会

役員名	氏 名	摘 要	備考
委員長	高橋 光幸	富山国際大学現代社会学部教授	
委 員	中嶋 勝彦	帝京平成大学現代ライフ学部教授	
〃	磯部 賢	富山県観光課長	
〃	川合 声一	南砺市観光協会長	
〃	細川 哲	南砺市商工会専務理事	
〃	山田 晃	富山県観光連盟砺波地区会長	
〃	前川 正樹	西日本旅客鉄道（株）高岡地域統括	
〃	草木 健	加越能鉄道（株）営業部長	
〃	楠 順子	井波観光ガイド「井波の風」代表	
〃	村上 幸子	南砺市観光協会理事	
〃	上田 明美	南砺里山博体験企画者	
〃	中道 真由美	公募委員（立野原観光農園）	
〃	山本 誠一	公募委員（薪の音）	
〃	大浦 章一	南砺市産業経済部長	
〃	斉藤 宗人	南砺市企画情報課長	
計	１５名		

アドバイザー	片岡 吉則	飛騨高山観光案内所応接管理者	
〃	吉井 靖	（株） うぶすな 代表取締役社長	
〃	藤原 浩	（社） 日本フードアナリスト協会常任理事	
〃	古田 秘馬	（株）umari 代表取締役社長	
〃	宮西 幹男	地域力創研	

②ワーキング部会

NO	氏 名	備考	NO	氏 名	備考
1	岡部　智美	ファシリテーター（民宿おかべ）	16	坂井　晋	ログログファーム
2	中道真由美	策定委員（立野原観光農園）	17	崎田　宗孝	井波彫刻協同組合
3	宮下　直子	丸の内朝大学（NAO コーポレーション）	18	上田　匡人	IOX-AROSA
4	石本　泉	丸の内朝大学（五箇山和紙の里）	19	山崎友紀恵	南砺市観光協会事務局
5	小原　好喬	城端蒔絵16世	20	富田　大輔	南砺市農政課
6	高田　哲親	お食事処　坂出	21	遠藤　聰	ファシリテーター（㈱上智）
7	小泉　正人	日の出屋製菓産業（株）	22	長田　久美	観光ガイド「機の声 じょうはな」
8	吉田　和人	いなみ木彫りの里　創遊館	23	川田　真紀	丸の内朝大学（自営業）
9	野原　善一	南砺市観光協会事務局	24	坂本　尚徳	丸の内朝大学（五箇山荘）
10	勇崎　香志	南砺市商工課	25	岩元　和子	公募（砺波市観光協会）
11	谷本　亙	ファシリテーター（地創研）	26	松井　紀子	㈱松井機業
12	山本　誠一	策定委員（薪の音）	27	向井竜太郎	福野タウンホテル　ア・ミュー
13	中川　裕子	丸の内朝大学（自営業）	28	東　憲如	ふくみつ華山温泉
14	石村　修子	丸の内朝大学（千華園）	29	荒井　有紀	南砺市観光協会事務局
15	荒井　崇浩	公募（土産・お休み処　あらい）	30	加藤　美穂	南砺市林政課

③事務局

役員名	氏 名	摘 要	備考
事務局長	米田　聡	南砺市産業経済部観光課長	
事務局員	此尾　治和	南砺市産業経済部観光課長補佐	
〃	西野　哲也	南砺市産業経済部観光課	
〃	中井　麻衣	南砺市産業経済部観光課	
〃	河合　陽介	地創研	
〃	株式会社　上智	コンサルタント	

3. アンケート調査結果

本プランの策定にあたっては、市民や来訪者の「南砺市の交流観光」に関する意識や実態を把握するため、計3回のアンケート調査を実施しました。

アンケート名	調査対象	サンプル数	調査内容
①観光ボランティアガイド意識調査	「第2回観光ボランティアガイド北陸大会in南砺」参加者 （**北陸地域のガイド**の方々）	107 配布数206 回収率51.9%	・南砺市の観光資源の認知度、希望など ・南砺里山博の魅力度、希望など
②交流観光まちづくり講演会来場者意識調査	「交流観光まちづくり講演会」来場者 （主に、**南砺市民**）	117 配布数135 回収率86.7%	・北陸新幹線の開通に向けた観光の方向性、要望など
③公共交通利用者意識調査	JR城端線、イルカ交通高速バス等の公共交通を利用した**来訪者**	109	・来訪者の観光の実態、希望など ・公共交通の利用実態、希望など

1．観光ボランティアガイド　意識調査

1－1 調査概要

（1）調査日・調査場所

平成 24 年 8 月 1 日～2 日

南砺農業会館（「第 2 回観光ボランティア北陸大会 in 南砺」会場）

（2）調査方法

観光ボランティア大会開催時に参加者を対象としてアンケート票を配布し、大会終了時にアンケート票を回収しました。

（3）調査項目

分類	調査項目
回答者の属性	① 性別
	② 年齢
	③ 居住地
	④ 南砺市への来訪数
南砺市の観光について	① 南砺市の主な観光資源で行ったことがある又は知っているもの
	② 南砺で観光する際に体験してみたいこと
	③ 南砺を観光する際の魅力的なプラン
	④ 南砺を観光する際の交通手段
	⑤ 南砺を観光する際に最も重視すること
	⑥ 南砺市の主な祭り・イベントで行ったことがある又は知っているもの
	⑦ 南砺市の主な祭り・イベントでＰＲ資料を見たうえで行ってみたいもの
南砺里山博について	① 南砺里山博への参加意識
	② 南砺里山博で体験してみたいプログラム
	③ 南砺里山博で魅力がないと感じる点

（4）配布・回収数

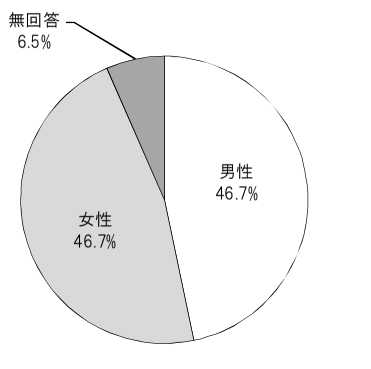
配布数	回収数	回収率（%）
206	107	51.9

1－2 調査結果

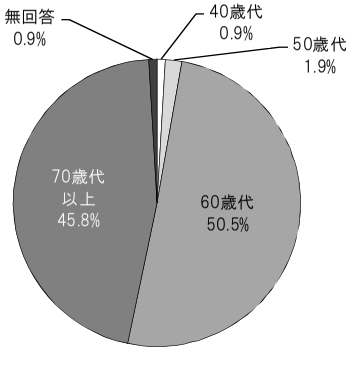
（1）回答者の属性

- ■ 回答者の性別は、男女ともに同じ割合となっています。
- ■ 年齢別では、60 歳代及び 70 歳代以上の割合が大部分を占めています。
- ■ 居住地別では、石川県の割合が最も高く約半数となっています。
- ■ 南砺市への来訪回数は、3 回目以上の割合が最も高く約半数となっています。

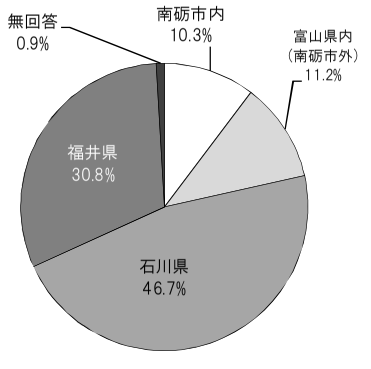
＜回答者の性別＞



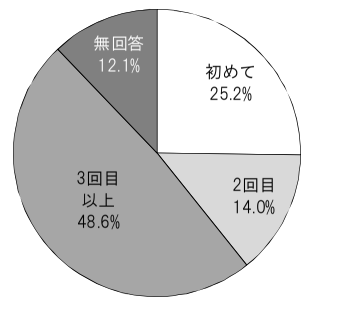
＜回答者の年齢＞



＜回答者の居住地＞



＜南砺市への来訪数＞



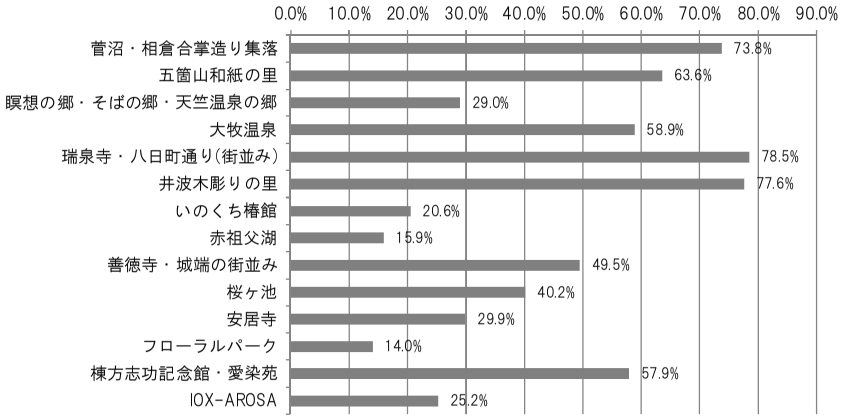
（2）南砺市の観光について

① 南砺市の主な観光資源で行ったことがある又は知っているもの（複数回答）

■ 観光資源の認知度は、「瑞泉寺・八日町通り(街並み)」、「井波木彫りの里」、「菅沼・相倉合掌造り集落」が７割以上と高くなっています。

■ 観光資源の大部分は、回答者の居住地が南砺市から距離が離れるほど認知度が低くなる傾向にあります。

＜南砺市の主な観光資源で行ったことがある又は知っているもの＞



＜南砺市の主な観光資源で行ったことがある又は知っているもの（居住地別）＞

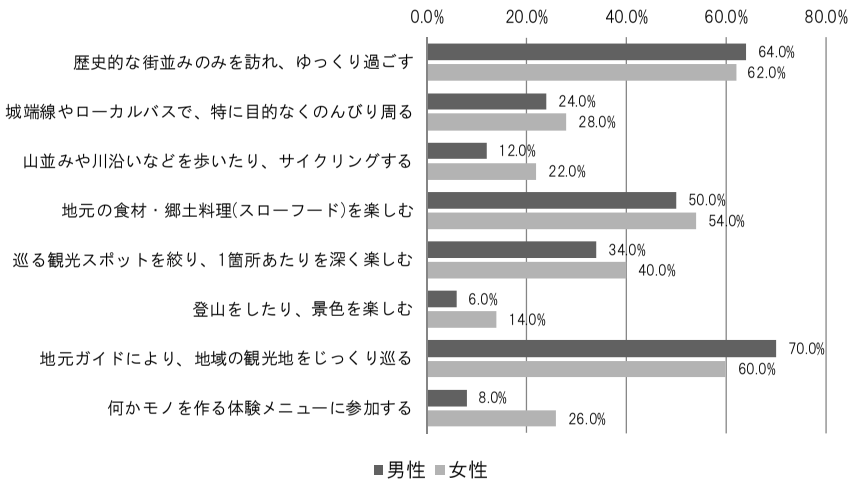
観光資源	南砺市内	富山県内（南砺市外）	石川県	福井県	全体
菅沼･相倉合掌造り集落	100.0%	100.0%	76.0%	51.5%	73.8%
五箇山和紙の里	100.0%	83.3%	58.0%	54.5%	63.6%
瞑想の郷･そばの郷･天竺温泉の郷	81.8%	91.7%	20.0%	3.0%	29.0%
大牧温泉	90.9%	83.3%	54.0%	45.5%	58.9%
瑞泉寺･八日町通り(街並み)	100.0%	100.0%	80.0%	63.6%	78.5%
井波木彫りの里	100.0%	91.7%	74.0%	69.7%	77.6%
いのくち椿館	100.0%	50.0%	8.0%	3.0%	20.6%
赤祖父湖	90.9%	33.3%	6.0%	0.0%	15.9%
善徳寺･城端の街並み	100.0%	83.3%	50.0%	21.2%	49.5%
桜ヶ池	100.0%	83.3%	40.0%	6.1%	40.2%
安居寺	100.0%	66.7%	26.0%	0.0%	29.9%
フローラルパーク	72.7%	25.0%	8.0%	0.0%	14.0%
棟方志功記念館･愛染苑	100.0%	75.0%	62.0%	33.3%	57.9%
IOX-AROSA	100.0%	41.7%	22.0%	0.0%	25.2%

② 南砺市で観光する際に体験してみたいこと（複数回答）

■ 南砺市で観光する際は、「地元ガイドによりじっくりと観光」、「歴史的な街並みを訪れる」、「スローフードを楽しむ」といった体験を求める割合が高くなっています。

■ 男女別で比較すると、男性より女性のほうが「モノをつくる体験メニュー」を求める傾向が強くなっています。

＜南砺市で観光する際に体験してみたいこと（男女別）＞



＜南砺市で観光する際に体験してみたいこと（居住地別）＞

観光資源	南砺市内	富山県内（南砺市外）	石川県	福井県	全体
歴史的な街並みのみを訪れ、ゆっくり過ごす	63.6%	75.0%	68.0%	48.5%	61.7%
城端線やローカルバスで、特に目的なくのんびり周る	18.2%	8.3%	26.0%	33.3%	25.2%
山並みや川沿いなどを歩いたり、サイクリングする	36.4%	16.7%	18.0%	9.1%	17.8%
地元の食材・郷土料理(スローフード)を楽しむ	45.5%	58.3%	56.0%	42.4%	50.5%
巡る観光スポットを絞り、１箇所あたりを深く楽しむ	63.6%	16.7%	40.0%	39.4%	39.3%
登山をしたり、景色を楽しむ	36.4%	8.3%	8.0%	3.0%	9.3%
地元ガイドにより、地域の観光地をじっくり巡る	45.5%	83.3%	66.0%	66.7%	66.4%
何かモノを作る体験メニューに参加する	27.3%	41.7%	12.0%	12.1%	16.8%

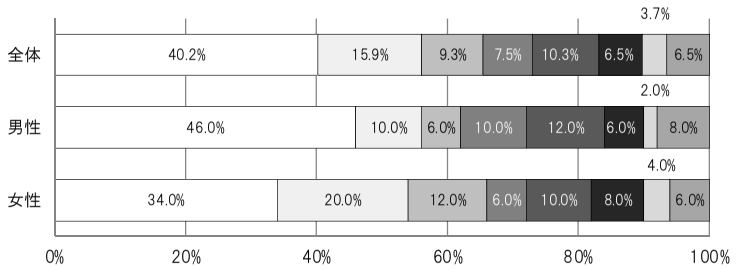
＜その他意見＞

・お縮小屋とその歴史、流刑地の研究（石川県男性）

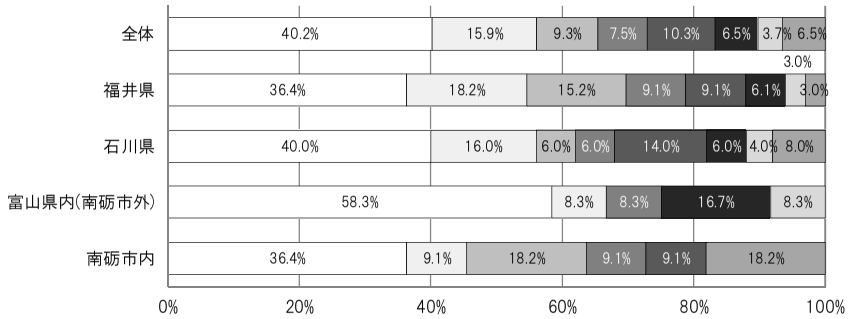
③ 南砺を観光する際の魅力的なプラン

■ 南砺を観光する際の魅力的なプランは、全体として「市内の各地域をゆっくりと観光」を求める割合が高く、特に男女別で男性、居住地別で富山県内（南砺市外）においてその割合が高くなっています。

＜南砺を観光する際の魅力的なプラン（男女別）＞



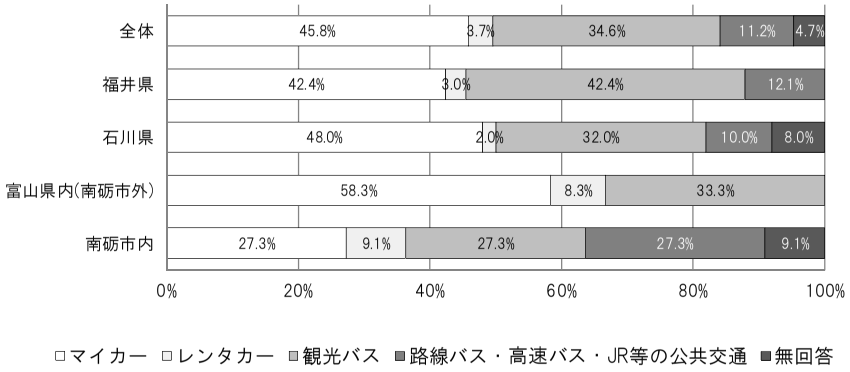
＜南砺を観光する際の魅力的なプラン（居住地別）＞



④ 南砺を観光する際の交通手段

■ 南砺を観光する際の交通手段は、全体として「マイカー」や「観光バス」を選択する割合が高くなっているなかで、南砺市内では公共交通の割合も同様に高くなっています。

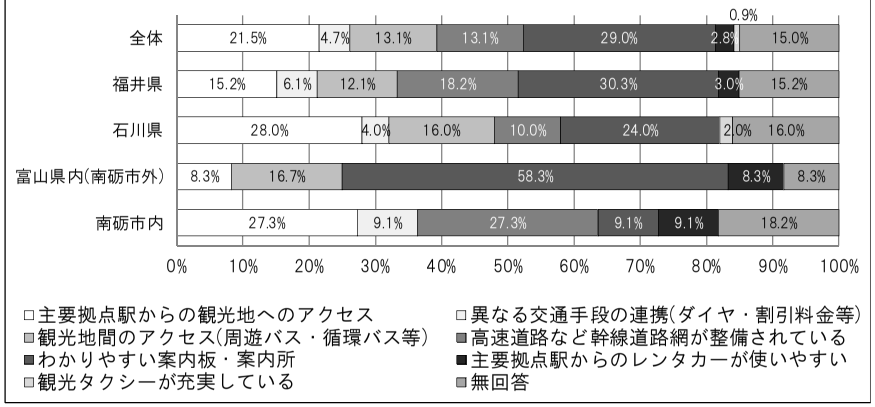
＜南砺を観光する際の交通手段（居住地別）＞



⑤ 南砺を観光する際に最も重視すること

■ 観光時に最も重視することは、全体として「わかりやすい案内板・案内所」を選択する割合が最も高く、特に富山県内（南砺市外）においてその傾向が顕著となっています。

＜南砺を観光する際に最も重視すること（居住地別）＞

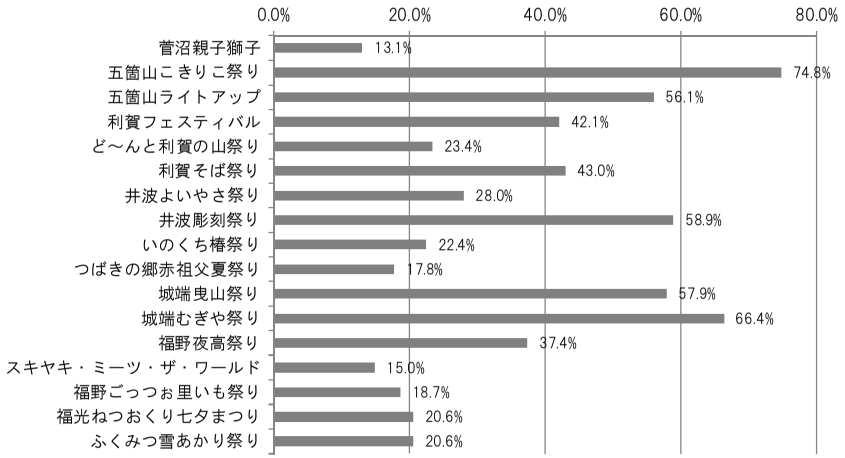


⑥ 南砺市の主な祭り・イベントで行ったことがある又は知っているもの（複数回答）

■ 祭り・イベントの認知度は、「五箇山こきりこ祭り」、「城端むぎや祭り」が７割前後と高くなっています。

■ 認知度は、富山県外になると低くなる傾向にあります。

＜南砺市の主な祭り・イベントで行ったことがある又は知っているもの＞



＜南砺市の主な観光資源で行ったことがある又は知っているもの（居住地別）＞

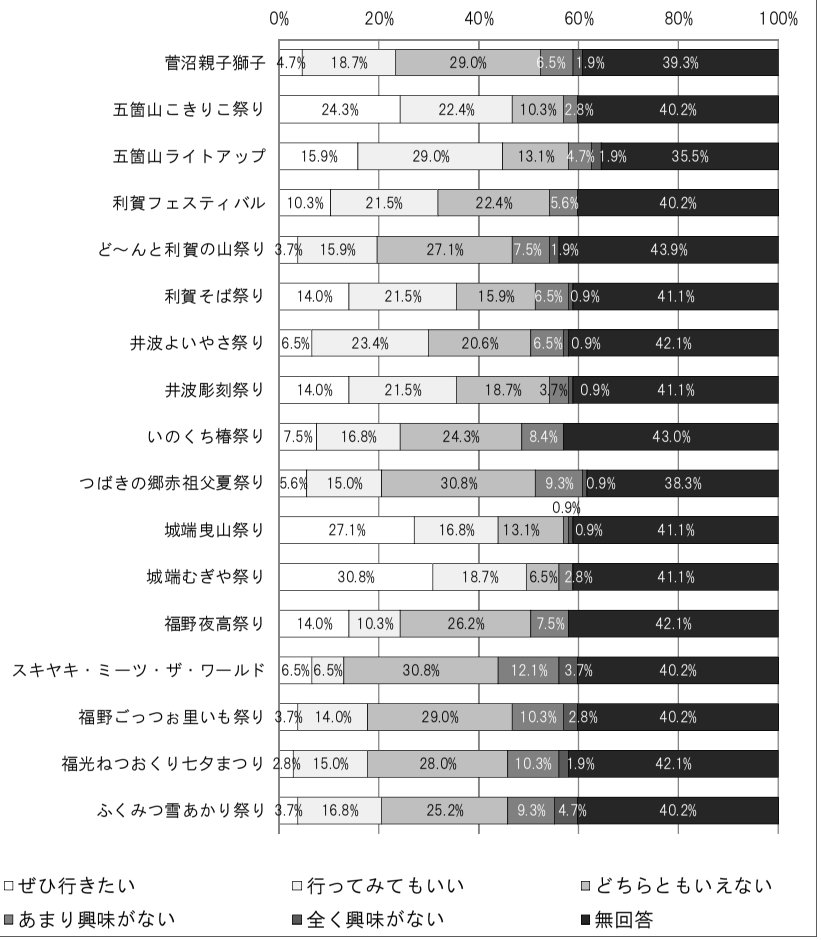
観光資源	南砺市内	富山県内（南砺市外）	石川県	福井県	全体
菅沼親子獅子	36.4%	25.0%	8.0%	9.1%	13.1%
五箇山こきりこ祭り	72.7%	75.0%	74.0%	75.8%	74.8%
五箇山ライトアップ	63.6%	83.3%	62.0%	36.4%	56.1%
利賀フェスティバル	63.6%	66.7%	48.0%	18.2%	42.1%
ど～んと利賀の山祭り	72.7%	41.7%	18.0%	9.1%	23.4%
利賀そば祭り	72.7%	83.3%	38.0%	27.3%	43.0%
井波よいやさ祭り	81.8%	50.0%	20.0%	15.2%	28.0%
井波彫刻祭り	81.8%	75.0%	52.0%	57.6%	58.9%
いのくち椿祭り	81.8%	50.0%	12.0%	9.1%	22.4%
つばきの郷赤祖父夏祭り	72.7%	41.7%	8.0%	6.1%	17.8%
城端曳山祭り	81.8%	91.7%	58.0%	39.4%	57.9%
城端むぎや祭り	81.8%	91.7%	70.0%	45.5%	66.4%
福野夜高祭り	81.8%	91.7%	34.0%	9.1%	37.4%
スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド	72.7%	58.3%	2.0%	0.0%	15.0%
福野ごっつぉ里いも祭り	72.7%	66.7%	6.0%	3.0%	18.7%
福光ねつおくり七夕まつり	81.8%	58.3%	4.0%	12.1%	20.6%
ふくみつ雪あかり祭り	72.7%	41.7%	12.0%	9.1%	20.6%

⑦ 南砺市の主な祭り・イベントでＰＲ資料を見たうえで行ってみたいもの

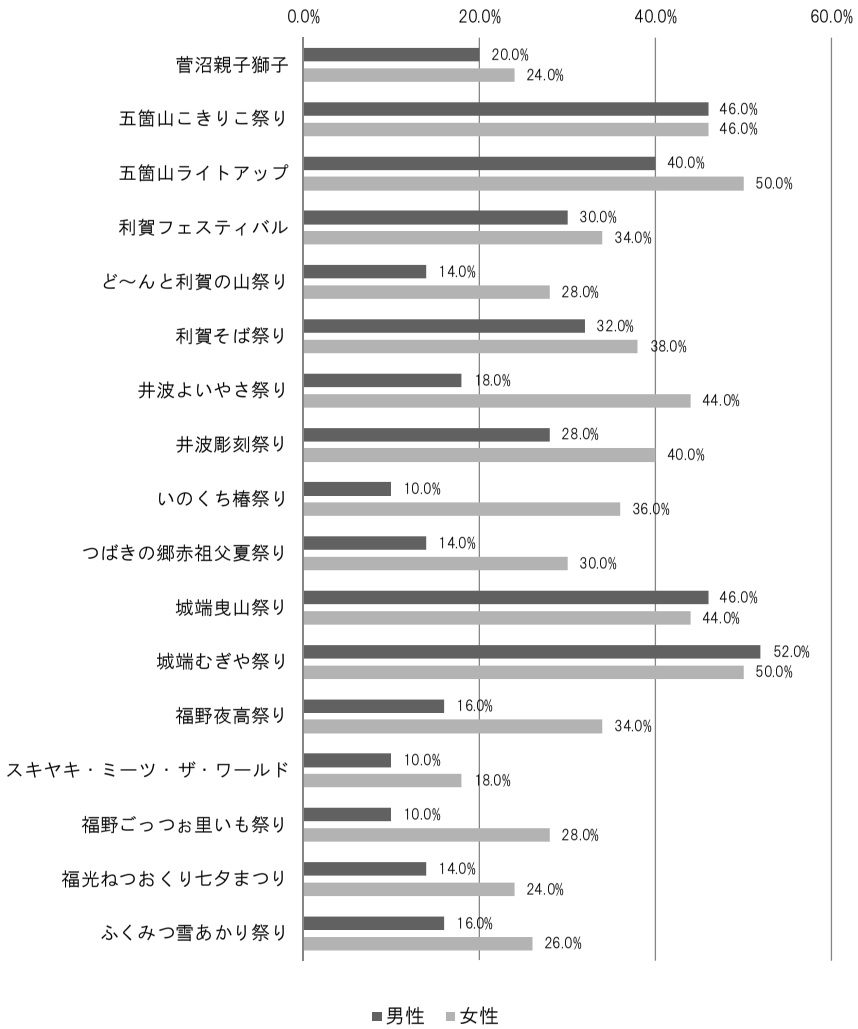
■ ＰＲ資料を見たうえで「ぜひ行きたい」又は「行ってみてもいい」と回答された割合が高い祭り・イベントは、全体として「城端むぎや祭り」、「五箇山こきりこ祭り」、「五箇山ライトアップ」、「城端曳山祭り」などとなっています。

■ 男女別で回答に差が出た祭り・イベントは、「井波よいやさ祭り」、「いのくち椿祭り」、「福野夜高祭り」、「福野ごっつぉ里いも祭り」などで、いずれも女性に求められる傾向にあります。

＜南砺の主な祭り・イベントでＰＲ資料を見たうえで行ってみたいもの＞



＜南砺市の主な祭り・イベントでＰＲ資料を見たうえで行ってみたいもの＞
＊男女別で「ぜひ行きたい」又は「行ってみてもいい」と答えた方の割合



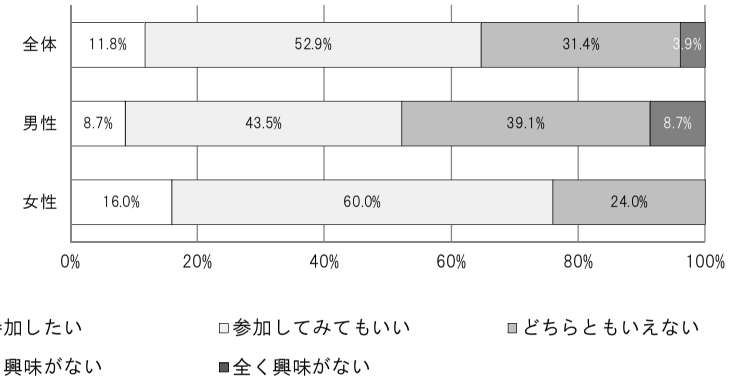
（３）南砺里山博について

① 南砺里山博への参加意識

■ 南砺里山博への参加意識は、全体として「ぜひ参加したい」又は「参加してみてもいい」との回答割合が半数を超えています。

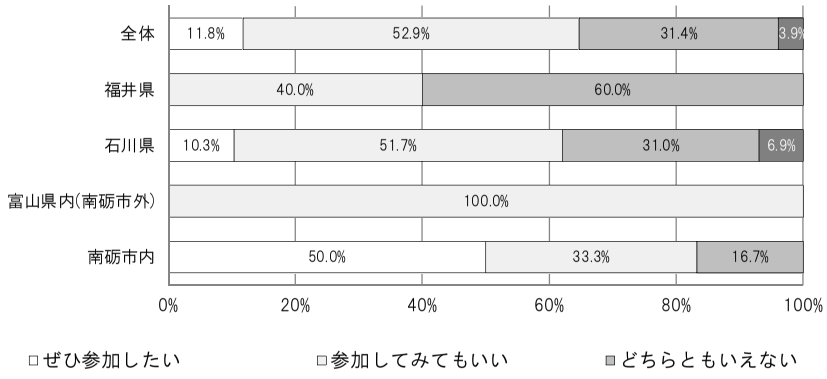
■ 男女別では男性よりも女性に参加意識が高い傾向がみられるほか、居住地別では富山県外になると低くなる傾向がみられます。

＜南砺里山博への参加意識（男女別）＞



※ 無回答の割合が半数以上であったため、有効回答のみを用いて割合を算出しています。

＜南砺里山博への参加意識（居住地別）＞



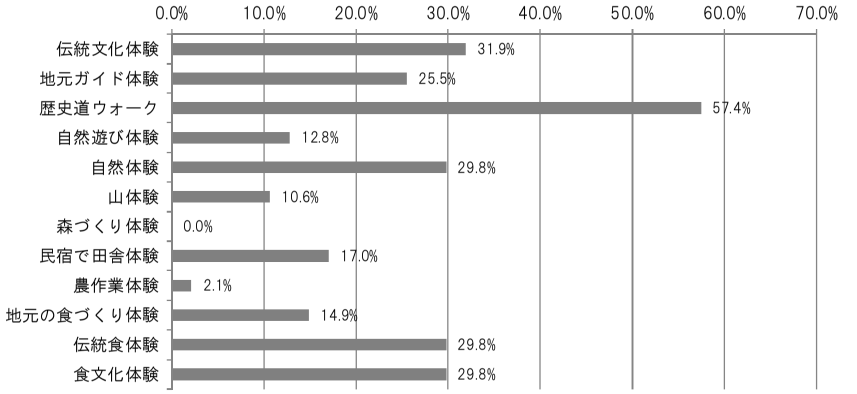
※ 無回答の割合が半数以上であったため、有効回答のみを用いて割合を算出しています。

② 南砺里山博で体験してみたいプログラム（複数回答）

■ 里山博で体験してみたいプログラムは、全体として「歴史道ウォーク」の割合が最も高く、半数を超えています。

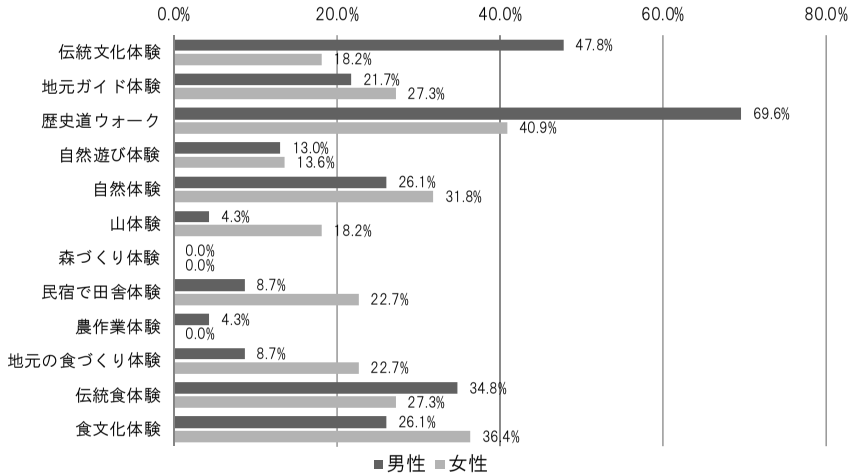
■ 男女別で比較すると、「歴史道ウォーク」や「伝統文化体験」などは男性に、また「民宿で田舎体験」や「地元の食づくり体験」、「山体験」などは女性により求められる傾向にあります。

＜南砺里山博で体験してみたいプログラム＞



※ 無回答の割合が半数以上であったため、有効回答のみを用いて割合を算出しています。

＜南砺里山博で体験してみたいプログラム（男女別）＞

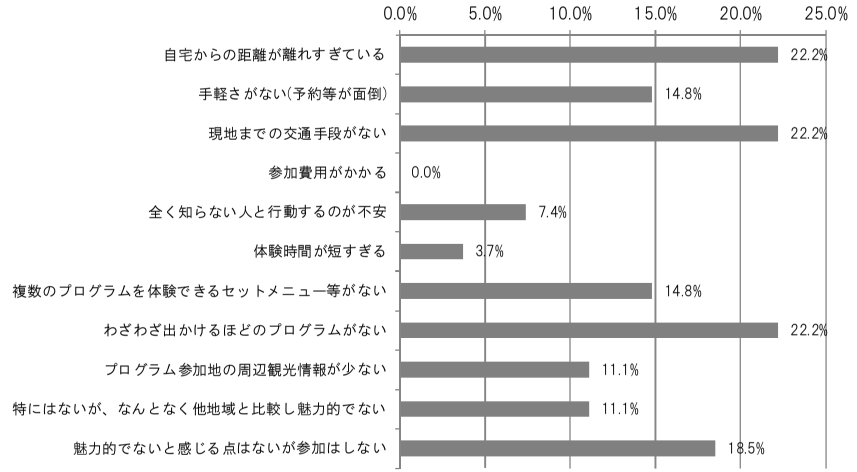


※ 無回答の割合が半数以上であったため、有効回答のみを用いて割合を算出しています。

③ 南砺里山博で魅力がないと感じる点（複数回答）

■ 里山博に魅力を感じない点には、「自宅からの距離が遠い」、「現地までの交通手段がない」、「わざわざ出かけるほどのプログラムがない」といった点が最も多く回答されています。

＜南砺里山博に魅力がないと感じる点＞



※ 無回答の割合が半数以上であったため、有効回答のみを用いて割合を算出しています。

＜その他意見＞

・高齢のため無理かと思います（福井県男性）

・自分が情報不足、年齢的に交通手段が弱い（石川県男性）

・いつあるのですか？　（内容が）良くわかりません（石川県女性）

2．交流観光まちづくり講演会来場者　意識調査

2－1 調査概要

（1）調査日・調査場所

平成 24 年 8 月 20 日

じょうはな座（交流観光まちづくり講演会会場）

（2）調査方法

「新幹線がつなぐ、地域の人々の心　～北陸新幹線開業を控えた観光のまちづくり～　」と題して開催された講演会の開会前に来場者を対象としてアンケート票を配布し、閉会後にアンケート票を回収しました。

（3）調査項目

分類	調査項目
回答者の属性	① 性別
	② 年齢
	③ 居住地
	④ 職業
北陸新幹線の開業と南砺の交流観光まちづくりについて	① 北陸新幹線の開業に期待すること
	② 北陸新幹線開業に向けて優先的に取り組むべきこと
	③ 「南砺里山博」の様な交流を活かした観光まちづくりの重要性
	④ 知人などに案内したい南砺の観光資源
	⑤ 知人などに案内したい南砺の祭り・イベント
	⑥ その他、講演会の内容や南砺の交流観光まちづくりに関する自由意見

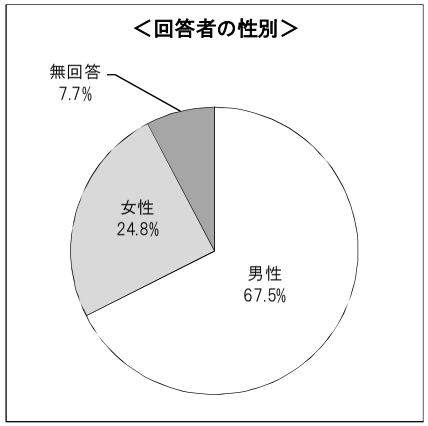
（4）配布・回収数

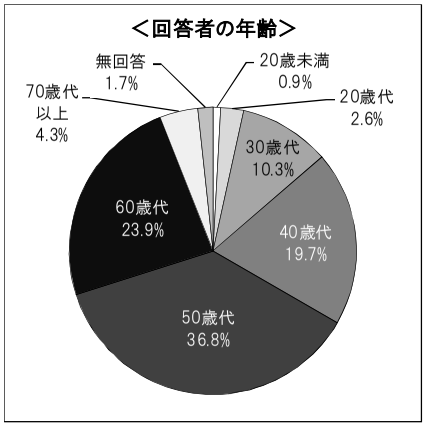
配布数	回収数	回収率（%）
135	117	86.7

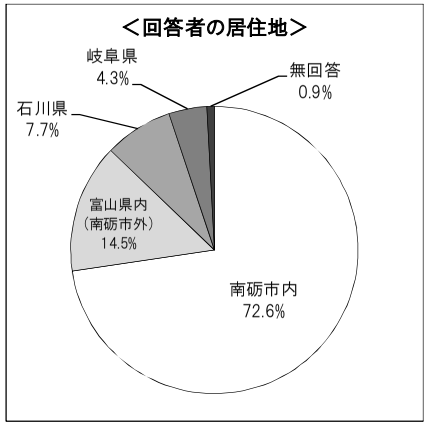
2－2 調査結果

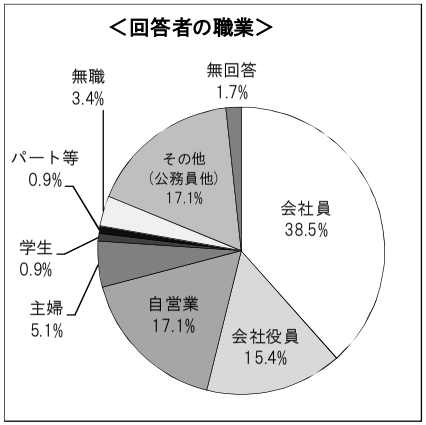
（1）回答者の属性

- ■ 回答者の性別は、男性の割合が高く 7 割近くとなっています。
- ■ 年齢別では、50 歳代の割合が最も高く、次いで 60 歳代、40 歳代となっています。
- ■ 居住地別では、南砺市内の割合が最も高く 7 割以上を占めています。
- ■ 職業別では、会社員の割合が最も高く、次いで自営業、会社役員となっています。







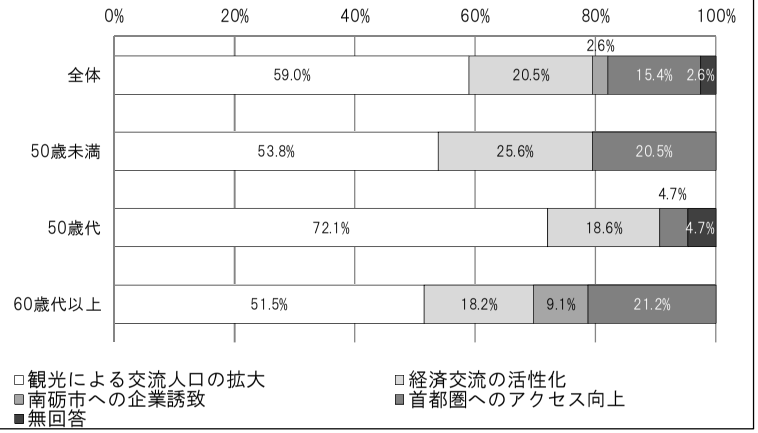


（2）北陸新幹線の開業と南砺の交流観光まちづくりについて

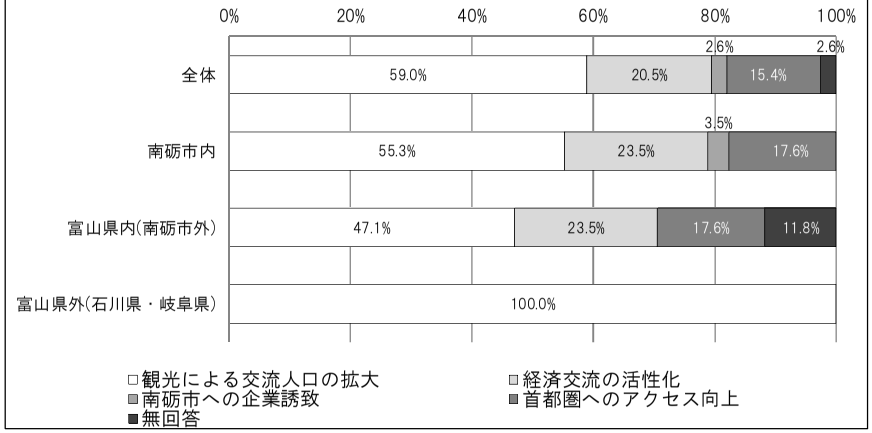
① 北陸新幹線の開業に期待すること

- ■ 北陸新幹線の開業に期待することは、全体として「観光による交流人口の拡大」の割合が最も高く過半数を占めています。
- ■ 年齢別で比較すると、50 歳代において「観光による交流人口の拡大」を期待する傾向が強まっています。
- ■ 富山県内では「観光による交流人口の拡大」のほか、「地域経済の活性化」や「首都圏へのアクセス向上」といった点にも期待がもたれています。

＜北陸新幹線の開業に期待すること（年齢別）＞



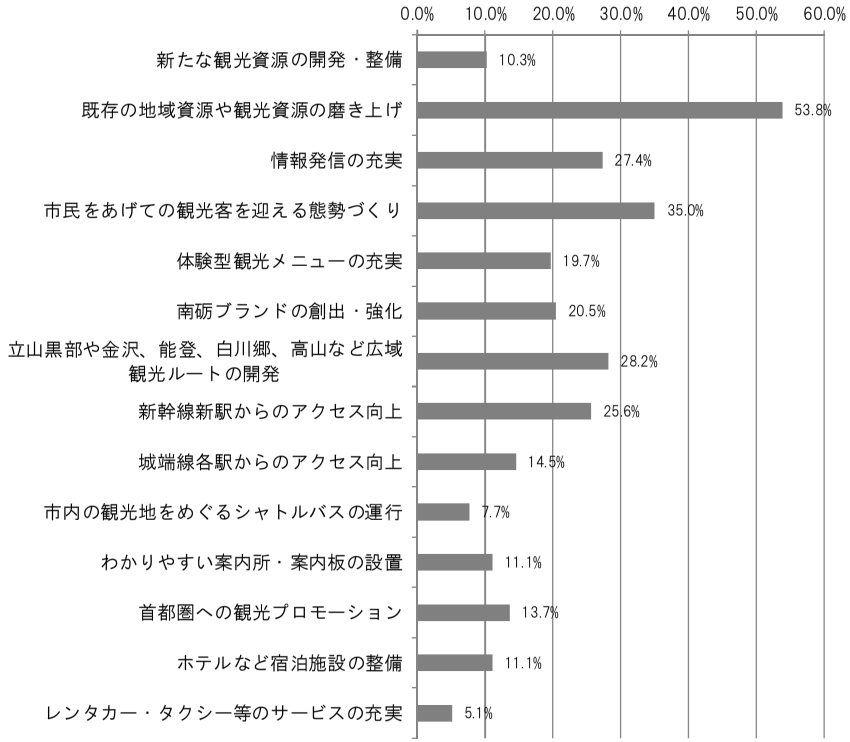
＜北陸新幹線の開業に期待すること（居住地別）＞



② 北陸新幹線開業に向けて優先的に取り組むべきこと（複数回答）

- ■ 北陸新幹線開業に向けて優先的に取り組むべきことは、全体として「既存の地域資源や観光資源の磨き上げ」と回答された割合が最も高く、次いで「市民をあげての観光客を迎える態勢づくり」、「広域観光ルートの開発」となっています。
- ■ 年齢別で比較すると、若い世代ほど「市民をあげての観光客を迎える態勢づくり」を重視する一方、高齢世代ほど「新幹線新駅からのアクセス向上」、「わかりやすい案内所・案内板の設置」、「宿泊施設の整備」といった基盤施設等の充実を重視する傾向がみられます。
- ■ 居住地別で比較すると、富山県内では「既存の地域資源や観光資源の磨き上げ」の割合が最も高くなっているのに対し、富山県外では「広域観光ルートの開発」の割合が高く、周辺観光地との広域連携を重視する傾向にあります。

＜北陸新幹線開業に向けて優先的に取り組むべきこと＞



＜北陸新幹線開業に向けて優先的に取り組むべきこと（年齢別）＞

北陸新幹線開業に向けた取り組み	50 歳未満	50 歳代	60 歳以上	全体
新たな観光資源の開発・整備	12.8%	9.3%	9.1%	10.3%
既存の地域資源や観光資源の磨き上げ	59.0%	58.1%	45.5%	53.8%
情報発信の充実	25.6%	30.2%	27.3%	27.4%
市民をあげての観光客を迎える態勢づくり	43.6%	37.2%	24.2%	35.0%
体験型観光メニューの充実	17.9%	20.9%	18.2%	19.7%
南砺ブランドの創出・強化	23.1%	27.9%	9.1%	20.5%
立山黒部や金沢、能登、白川郷、高山など広域観光ルートの開発	28.2%	34.9%	21.2%	28.2%
新幹線新駅からのアクセス向上	25.6%	18.6%	36.4%	25.6%
城端線各駅からのアクセス向上	17.9%	7.0%	18.2%	14.5%
市内の観光地をめぐるシャトルバスの運行	7.7%	7.0%	9.1%	7.7%
わかりやすい案内所・案内板の設置	7.7%	11.6%	15.2%	11.1%
首都圏への観光プロモーション	7.7%	16.3%	18.2%	13.7%
ホテルなど宿泊施設の整備	2.6%	9.3%	21.2%	11.1%
レンタカー・タクシー等のサービスの充実	2.6%	0.0%	15.2%	5.1%

＜北陸新幹線開業に向けて優先的に取り組むべきこと（居住地別）＞

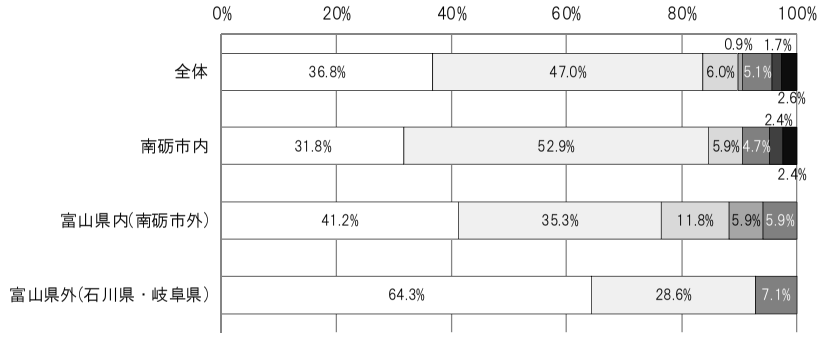
北陸新幹線開業に向けた取り組み	南砺市内	富山県内（南砺市外）	富山県外（石川県・岐阜県）	全体
新たな観光資源の開発・整備	10.6%	11.8%	7.1%	10.3%
既存の地域資源や観光資源の磨き上げ	51.8%	82.4%	35.7%	53.8%
情報発信の充実	24.7%	35.3%	35.7%	27.4%
市民をあげての観光客を迎える態勢づくり	37.6%	41.2%	14.3%	35.0%
体験型観光メニューの充実	20.0%	23.5%	14.3%	19.7%
南砺ブランドの創出・強化	23.5%	17.6%	7.1%	20.5%
立山黒部や金沢、能登、白川郷、高山など広域観光ルートの開発	20.0%	35.3%	71.4%	28.2%
新幹線新駅からのアクセス向上	24.7%	23.5%	35.7%	25.6%
城端線各駅からのアクセス向上	20.0%	0.0%	0.0%	14.5%
市内の観光地をめぐるシャトルバスの運行	9.4%	0.0%	7.1%	7.7%
わかりやすい案内所・案内板の設置	9.4%	17.6%	14.3%	11.1%
首都圏への観光プロモーション	12.9%	0.0%	35.7%	13.7%
ホテルなど宿泊施設の整備	15.3%	0.0%	0.0%	11.1%
レンタカー・タクシー等のサービスの充実	5.9%	0.0%	7.1%	5.1%

＜その他意見＞
- ボランティアガイドとして地元をもっと愛して誇れる地域づくりを進める（南砺市内 60 歳代女性）
- 統一感を創り出してほしい（南砺ブランドの創出・強化）（南砺市内 30 歳代女性）
- 子供でも案内が出来る情報ＤＢ作り（南砺市内 30 歳代男性）
- 自分たちが当たり前と思っているものを見つけること、まちづくりに住民が楽しみ、来ていただいた人と共に迎えることが大切。（南砺市内 40 歳代女性）
- 開業前の準備（立ち寄ってみたくなるルートづくり）（南砺市内 50 歳代男性）

③ 「南砺里山博」の様な交流を活かした観光まちづくりの重要性

■ 交流を活かした観光まちづくりに対して「とても重要だと思う」又は「重要だと思う」と回答された割合は、全体として 8 割以上と高くなっており、特に富山県外においては 9 割以上を占めています。

＜南砺里山博の様な交流を活かした観光まちづくりの重要性（居住地別）＞



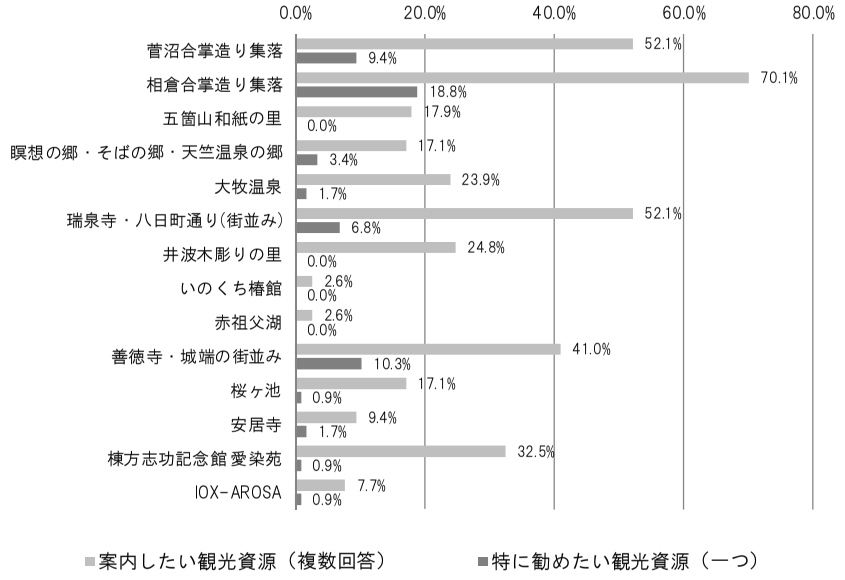
＜その他意見＞
- 岐阜や長野に似たものが多すぎる（富山県内 40 歳代男性）
- 大きなイベント、歴史あるものに的を絞った方がいい（南砺市内 60 歳代女性）
- 重要だと思うが、近郊、市内の方々の交流もしっかりすべき（南砺市内 30 歳代女性）
- 地道な交流が必要です（南砺市内 30 歳代女性）

④ 知人などに案内したい南砺の観光資源

■ 知人などに案内したい観光資源（複数回答）は、「相倉合掌造り集落」の割合が７割以上となっているほか、「菅沼合掌造り集落」や「瑞泉寺・八日町通り（街並み）」、「善徳寺・城端の街並み」も４割以上と高くなっています。

■ 特に勧めたい観光資源（一つ）では、複数回答で得られた結果と同様に「相倉合掌造り集落」の割合が２割近くと最も高くなっているほか、「善徳寺・城端の街並み」や「菅沼合掌造り集落」も１割前後の回答がみられます。

＜知人などに案内したい南砺の観光資源＞



＜その他意見＞

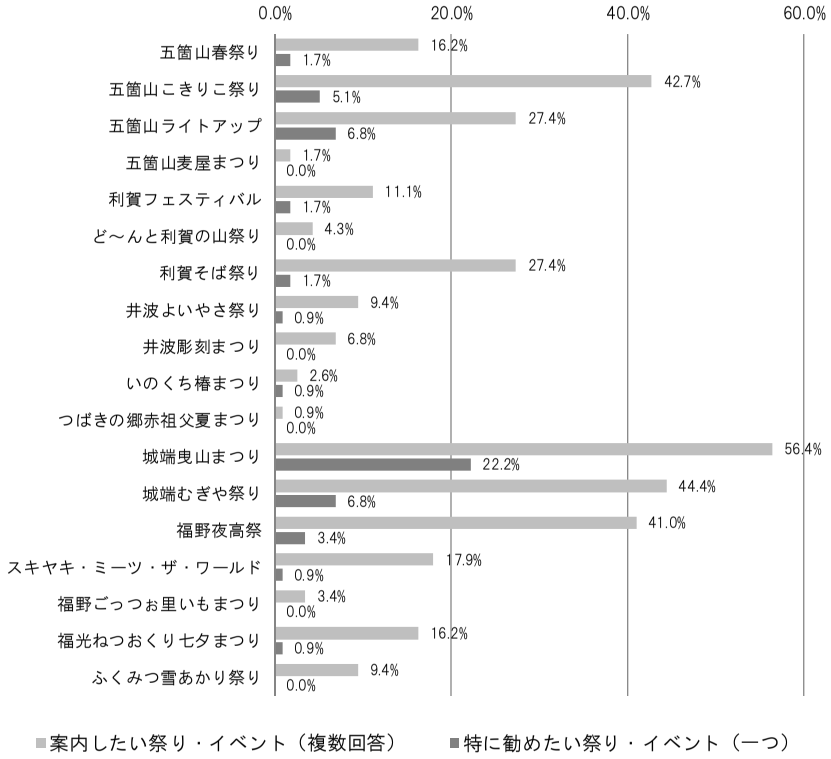
・なにげない田園風景（南砺市内 50 歳代男性）
・こきりこの里、村上家、岩瀬家（南砺市内 60 歳代女性）
・五箇山の民謡の体験プラン（富山県内 50 歳代）
・道宗道（標高 1000m のカベ）（南砺市内 60 歳代男性）
・絹織物商品化、川魚料理、観光ルート（地図）（富山県内 60 歳代女性）
・福光美術館、医王山、多くのダム（刀利、臼中等）（南砺市内 50 歳代男性）
・農家・民家（南砺市内 30 歳代女性）
・桂湖（南砺市内 30 歳代男性）
・もっとふつうのもの（南砺市内 30 歳代女性）

⑤ 知人などに案内したい南砺の祭り・イベント

■ 知人などに案内したい祭り・イベント（複数回答）は、「城端曳山まつり」の割合が過半数となっているほか、「城端むぎや祭り」や「五箇山こきりこ祭り）」、「福野夜高祭」も４割以上と高くなっています。

■ 特に勧めたい観光資源（一つ）では、複数回答で得られた結果と同様に「城端曳山まつり」の割合が２割以上と最も高くなっています。

＜知人などに案内したい南砺の祭り・イベント＞



＜その他意見＞

・平むぎやまつり（南砺市内 50 歳代男性）
・井波太子伝祭り（富山県内 40 歳代男性）
・こきりこ特別披露（南砺市内 60 歳代女性）
・彫刻キャンプ（南砺市内 30 歳代女性）

⑥ その他、講演会の内容や南砺の交流観光まちづくりに関する自由意見

■ 講演会の内容や南砺の交流観光まちづくりに関する自由意見では、南砺の交流観光まちづくりの方向性に対しての意見が 26 件と多くみられ、特に「市民のおもてなしの心が大切」といった声が目立っています。

＜講演会の内容や南砺の交流観光まちづくりに関する主な意見＞

分類		主な意見
交流観光まちづくりの方向性(26 件)	おもてなしに関すること(13 件)	・おもてなしの心の醸成が大切。 ・市民に観光客を迎える体制ができていない。市民のレベルアップを図るべき。
	南砺のブランドづくりや情報発信に関すること(8 件)	・資源をお宝に磨き上げることが大切。 ・南砺らしい歴史、自然を分かりやすくＰＲすべき。 ・自分の県、そして隣の県のことを知り、首都圏に発信していくことが重要。
	南砺で楽しんでもらう魅力づくりに関すること(5 件)	・金沢、高岡からの二次交通を何とかすべき。 ・金沢とセットにする点、線、面の観光戦略が必要。
交流観光まちづくりの実施体制や事業推進に関すること(3 件)		・観光に関する高度な知識を身につけ、企画、事業推進できる人材育成を進めるべき。 ・講演の段階は終わり、実行をひとつでも積み重ね始めるべき。
その他講演の感想など(5 件)		・講演を聞き大変勉強になった。頑張ろうという力を貰った。 ・来て良かった。元気になれた。

＜自由意見一覧＞

・金沢、高岡からの二次交通を何とかしなければ何もできない（南砺市内 50 歳代男性）
・みんなで一途に続けること、何でもなく継いできた日常を誇れることが大切。おもてなしを楽しめる意識が大切（石川県 40 歳代男性）
・南砺らしい歴史、自然を分かりやすくＰＲすればいいのでないか。新しい観光づくりはムダに思う（コスト、わかりやすさ、マネ）（富山県内 40 歳代男性）
・面が大切。ついでではダメはその通りだと思います（富山県内 30 歳代女性）
・①資源をお宝にみがきあげる、②全員参加でお客様をおもてなし。この２つだけ。このことにどれだけ覚悟を持って取り組めるかがポイント。これに行政がリーダーシップをとれるか！（富山県内 40 歳代男性）
・今日まで点の観光資源はいくらか情報発信させているが弱い。南砺市は金沢の奥座敷的位置であり、金沢とセットにする点、線、面の観光戦略が必要と思います。（南砺市内 60 歳代）
・笑顔で声をかけよう。みんなでもてなそう。（南砺市内 50 歳代男性）
・お宝をみがく。気持ちを一つにしておもてなしの心。大切なことをたくさん教えて頂きました。（南砺市内 60 歳代女性）
・高橋敦司さんの話を聞き大変勉強になりました。がんばろうという力を貰いました。（南砺市内 60 歳代女性）
・観光客との交流の大切さがわかった。受け入れる側の心の豊かさが大切だと思う。観光は物ではなく人です。（南砺市内 50 歳代女性）
・全員の心が揃っておもてなしをする。自分達が誇りに思えるものを誇れる人づくりをしたいと思います。来る人も楽しみ、迎える人も楽しみ、皆が元気になれる観光をめざしたいです。（南砺市内 60 歳代女性）
・面で観光誘客をする材料をいかに作るかが大切だと痛感した（石川県 50 歳代男性）
・問-5 に「五箇山麦屋まつり」がないのは誠に残念です（富山県内 50 歳代）
・直接新幹線が通らない城端線なのに、とっても新幹線を待つ気持ちになりました。自分たちの心がけ。盛り上げるのは自分たちと気づかせてもらい頑張ろうと思いました。（南砺市内 60 歳代女性）
・市民に観光客をむかえる体制ができていない。・知らない人を見るとき白い目で見る。・観光客に場所を聞かれても適切に答えられない。・観る所を聞かれても答えの持ち合わせがない。こんな状況で観光を目玉にしようとしてもダメ。市民のレベルアップを図るべきだ。（南砺市内 60 歳代男性）
・世界遺産が近くにあるという環境に甘んじずみんなで力をあわせて新幹線をおむかえできるように自分たちで何ができるか考えてみたいと思います。ワクワクします。通勤時間帯以外はゆっくり走る席を設けるという運行には大賛成です（氷見→城端）（南砺市内 50 歳代女性）
・住民が自分たちの地域に自信を持つ。当たり前のことがとても大切なことがたくさんある。それを発信していく。地域の自慢、私たちの当たり前がめずらしい。（南砺市内 40 歳代女性）
・南砺に来たら富山のうんまいもん、ナントみ～んなあったわ！個性のある日中開店のお店屋さん（南砺市内 50 歳代男性）
・地域の人達のおもてなしの心が大事。地域の宝を探し出し、それを継続して観光客に覚えさせる（ポスター、カレンダー等）。心の満足、人とのつながりを得る観光が大事（観光客の高齢化により）（南砺市内 60 歳代女性）
・住民参加の極意を聞けて良かった（こんにちは、いらっしゃいませ、”私の住んでいるところはこんなに良いところ”ゆっくり楽しんでまた来てください）。2015 年までみんなで勉強しよう！！（南砺市内 70 歳以上女性）
・来て良かった！元気になれた。（南砺市内 50 歳代男性）
・自分達の誇りを内に秘めたままの人が多いと思う。沖縄の人のように何でもサイコーさあ～と言えるテンションがほしい。（南砺市内 30 歳代女性）
・普段思っていることを言ってくれた講演でした。ＤＣには是非応募を！●観光にたずさわる方の地位、報酬が向上するサイクルに。●雑務に追われるのではなく、高度な知識を身につけ企画、事業推進できる人材育成をしたらよいのでは。今の関係者ももちろん頑張っていますが。気軽に立ち寄って意見がいえる協会であってほしい（南砺市内 30 歳代女性）
・となりの石川県に住んでいますが、上記のまつりなど、こんなにたくさんのものがあるということを知りませんでした。まずは自分の県、そしてとなりの県のことを知り、関東、関西などの首都圏に発信しなければいけないと思いました（石川県 20 歳代男性）
・加賀藩ブランドを有効利用する意味も含めて、金沢から近いことを積極的にＰＲ、金沢からの誘客に取り組むべき。（石川県 50 歳代男性）
・講演の段階は終わり、実行をひとつでも積み重ね始めること（石川県 50 歳代）
・おもてなしの心の醸成が大切だと思った。市全体がもっと観光に力を入れるべき。そして市民にもっと観光に関心を持ってもらうように努める。（南砺市内 30 歳代男性）
・新幹線が来るってのはすばらしい事なのだと改めて感じました。特に市民皆で作り上げていく観光が大切と思いました。新しいお宝発掘も大切ですが、すでにあるものもより楽しいものに開発し育てていかなければならないと思いました。ＪＲさんのＤＣに乗っかって富山の市町村が一体となって観光地を磨き上げれるように！最後にこまちのDVD を見てて涙が出ました。（南砺市内 60 歳代女性）
・体験は定着性のあるものが良いと思います。地元でも知らない事が多いので案内が出来ない（富山県内 60 歳代女性）

3．公共交通利用者　意識調査

3－1 調査概要

（1）調査日・調査場所

平成 24 年 10 月 23 日～平成 25 年 1 月 10 日

ＪＲ城端線駅（城端駅・福野駅）、イルカ交通高速バス車内、五箇山地域（五箇山案内所、五箇山温泉五箇山荘）、きよべ呉服店

（2）調査方法

上記の各地点において公共交通利用者を中心にアンケート票を直接配布し、回答してもらいました。

（3）調査項目

分類	調査項目	
回答者の属性	① 性別	⑤ 休日の状況
	② 年齢	⑥ 旅行頻度
	③ 居住地	⑦ 自動車免許の有無
	④ 職業	
今回の南砺市への旅行について	① 交通手段	⑦ 市内の特別な目的地
	② 旅行目的	⑧ 市内での主な活動
	③ 旅行の同行者	⑨ 南砺市来訪前に訪れた所
	④ 南砺市への来訪状況	⑩ 公共交通を利用した理由
	⑤ 宿泊・滞在状況	⑪ 公共交通を利用した感想
	⑥ 食事の状況	
今後の旅行の意向について	① 今後南砺市へ旅行する際の公共交通の利用意欲	③ 南砺でゆっくり観光する際に体験したいこと
	② 公共交通利用にあたり取り組んでほしいこと	④ 南砺を観光する際の魅力的なプラン

（4）回収数

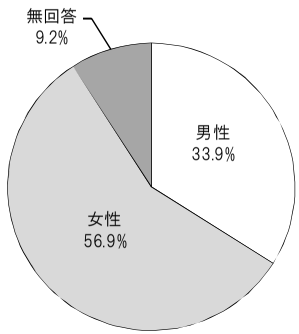
ＪＲ城端線駅（城端駅・福野駅）	イルカ交通高速バス	五箇山地域（五箇山案内所、五箇山荘）	きよべ呉服店	無回答	計
24	45	35	3	2	109

3－2 調査結果

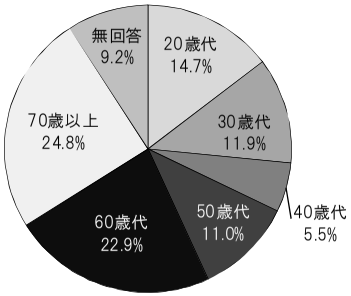
（1）回答者の属性

- 回答者の性別は、女性の割合が高くなっています。
- 年齢別では、70 歳代の割合が最も高く、次いで 60 歳代となっています。
- 居住地別では、関東地方の割合が 3 割以上と最も高く、次いで東海地方となっています。
- 職業別では、無職の割合がともに最も高く、次いで主婦、会社員となっています。
- 休日の状況は、「無職でほぼ自由」が 4 割近くと最も高くなっています。
- 旅行頻度は、「月に 1 回程度」「半年に 1 回程度」が 2 割以上と高くなっています。
- 自動車免許は、保有している割合が 6 割近くとなっています。

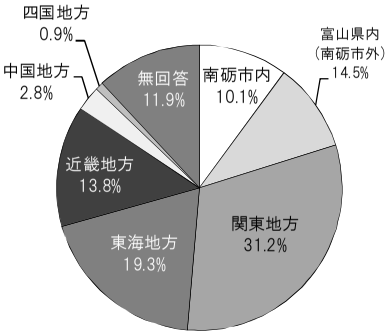
＜回答者の性別＞



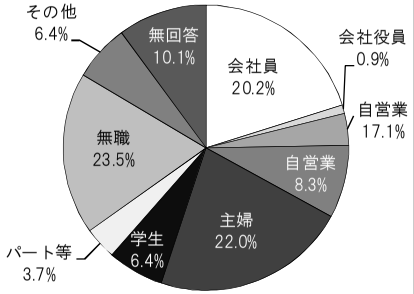
＜回答者の年齢＞



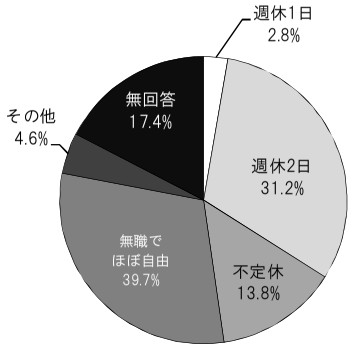
＜回答者の居住地＞



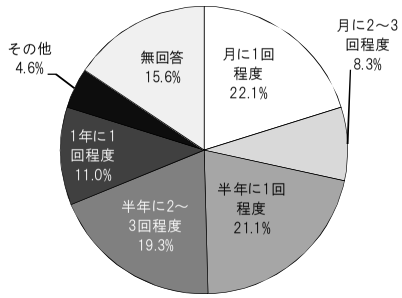
＜回答者の職業＞



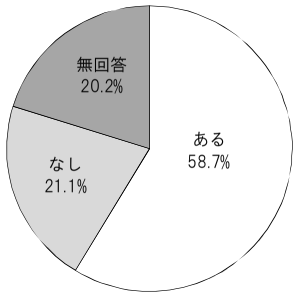
＜休日の状況＞



＜旅行頻度＞



＜自動車免許の有無＞



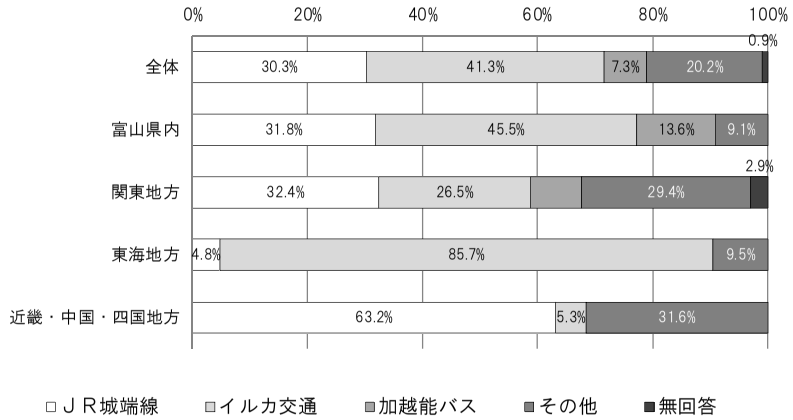
（２）今回の南砺市への旅行について

① 交通手段

■ 南砺市までの交通手段は、全体として「イルカ交通」を利用した割合が４割以上と最も高く、次いで「ＪＲ城端線」となっています。

■ 居住地別で比較すると、東海地方において「イルカ交通」を、また近畿・中国・四国地方において「ＪＲ城端線」を利用する傾向が顕著となっています。

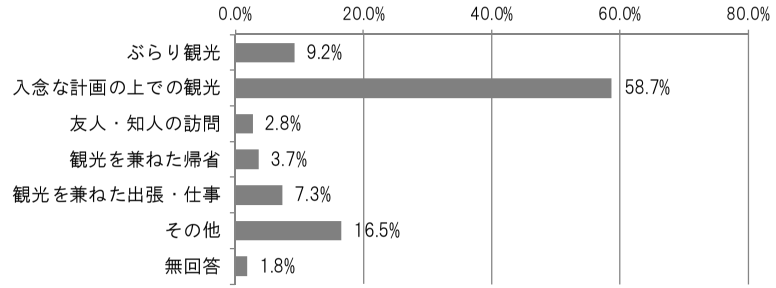
＜交通手段（居住地別）＞



② 旅行目的

■ 旅行目的は、「入念な計画の上での観光」が半数以上と最も高く、次いで「ぶらり観光」、「観光を兼ねた出張・仕事」となっています。

＜旅行目的＞

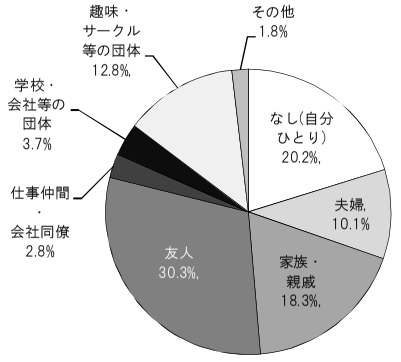


③ 旅行の同行者

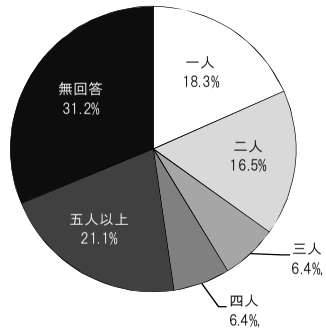
■ 旅行の同行者は、「友人」の割合が３割以上と最も高く、次いで「なし（自分ひとり）」、「家族・親戚」となっています。

■ 旅行の同行者数は５人以上の割合が最も高く、次いで２人となっています。

＜旅行同行者＞



＜旅行同行者数（回答者含む）＞

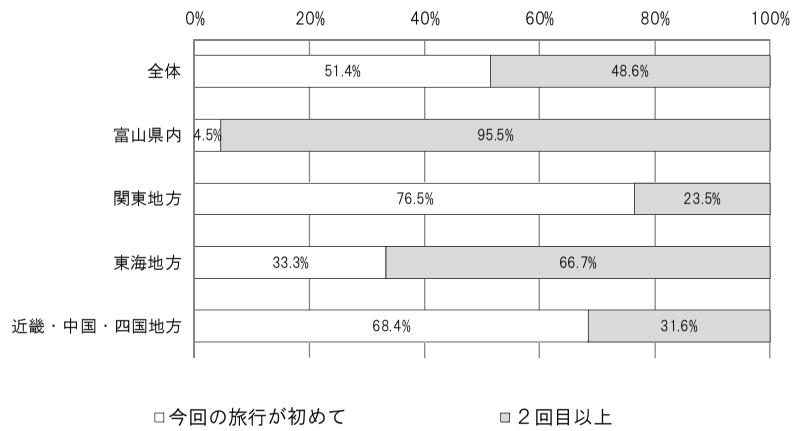


④ 南砺市への来訪状況

■ 南砺市への来訪状況は、全体として「今回の旅行が初めて」の割合が若干高くなっています。

■ 居住地別で比較すると、富山県内や東海地方は「２回目以上」の割合が高く、その他の地方は「今回の旅行が初めて」の割合が高くなっています。

＜南砺市への来訪状況（居住地別）＞



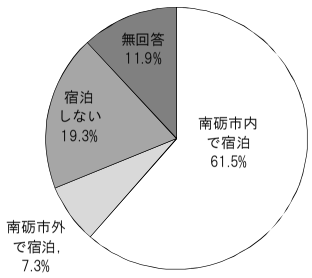
⑤ 宿泊・滞在状況

■ 宿泊・滞在状況は、「南砺市内で宿泊」の割合が６割近くと最も高くなっています。

■ 市内滞在時間・宿泊数は、「１泊」の割合が大部分を占めています。

■ 市内宿泊者の宿泊先は、「五箇山」が最も多くなっています。

＜宿泊状況＞



市内滞在時間・宿泊数	回答件数
５時間未満（未宿泊者）	４件
５時間以上（未宿泊者）	３件
１泊	57 件
２泊	６件
３泊	１件

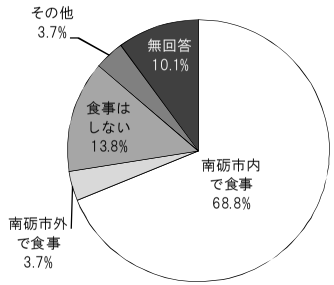
市内宿泊者の宿泊先	回答件数
五箇山（五箇山荘、五ヨ門等）	44 件
福野（ア・ミュー等）	10 件
福光（川合田温泉）	１件

⑥ 食事の状況

■ 食事の状況は、「南砺市内で食事」が７割近くと大部分を占めています。

■ 市内の食事先は、「五箇山」が多くなっています。

＜食事状況＞



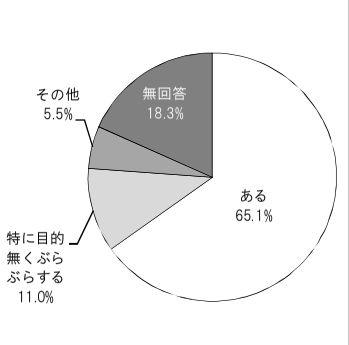
市内食事先	回答件数
五箇山 （道の駅、五箇山荘、坂出食堂等）	14 件
福野 （ア・ミュー）	４件
城端 （桜ヶ池クアガーデン、かねしま）	２件

⑦ 市内の特別な目的地

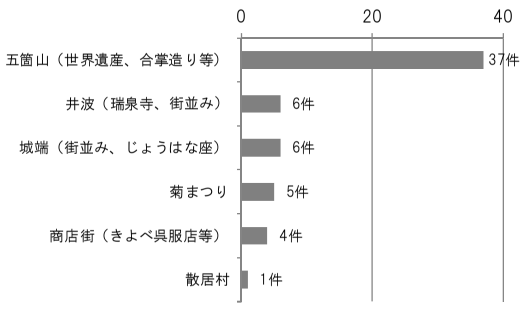
■ 市内での特別な目的地は、「ある」と回答した割合が７割以上と大部分を占めています。

■ 目的地は「五箇山」が最も多く、次いで「井波（瑞泉寺、街並み）」と「城端（街並み、じょうはな座）」が同数となっています。

＜市内の特別な目的地の有無＞



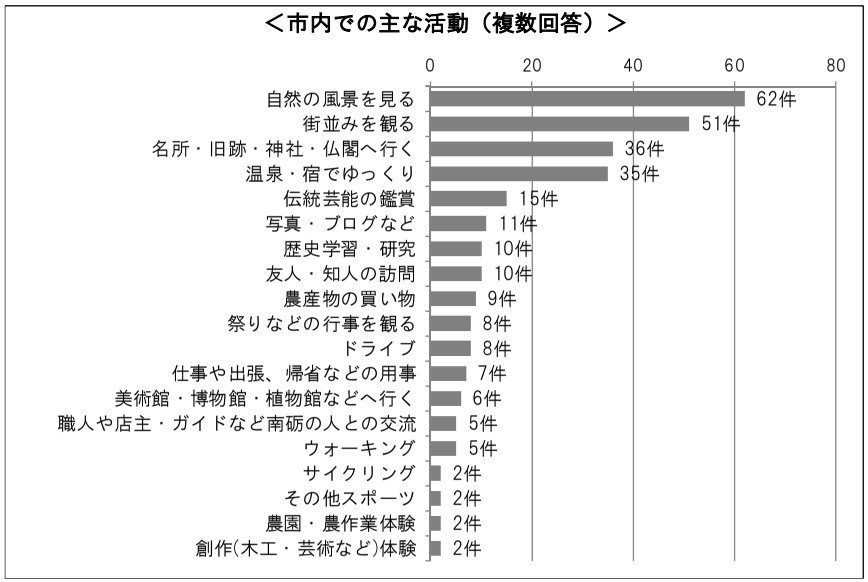
＜市内の目的地＞



⑧ 市内での主な活動（複数回答）

■ 市内での主な活動は、「自然の風景を見る」「街並みを観る」「名所・旧跡・神社・仏閣へ行く」「温泉・宿でゆっくり」といった活動が多くなっています。

＜市内での主な活動（複数回答）＞



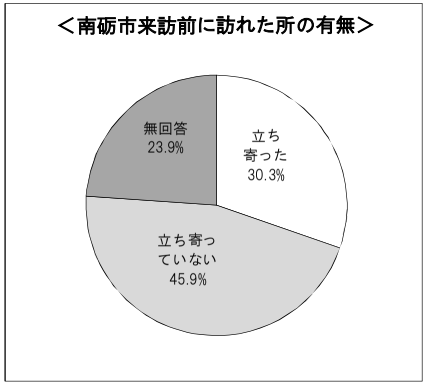
⑨ 南砺市来訪前に訪れた所

■ 南砺市来訪前は、他の地域に立ち寄っていない割合が高くなっています。

■ 南砺市来訪前に訪れた所は、「高岡」が最も多く、次いで「白川郷・高山」「富山」「金沢」が同数となっています。

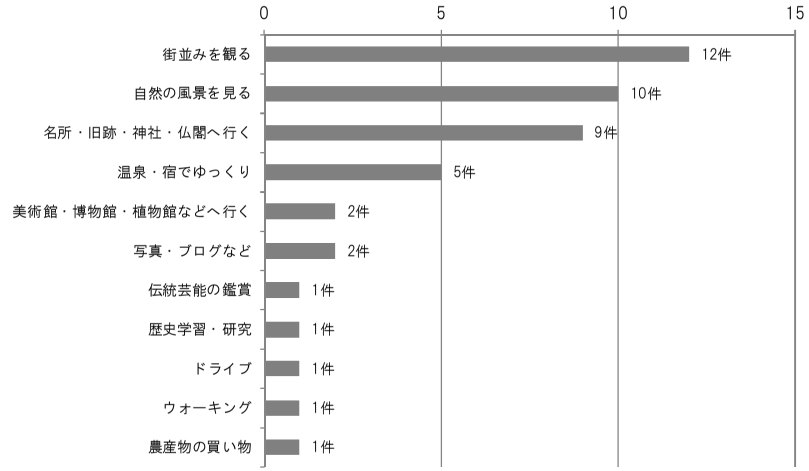
■ 南砺市来訪前に訪れた所での活動は、「街並みを観る」「自然の風景を見る」「名所・旧跡・神社・仏閣へ行く」などが多くなっています。

＜南砺市来訪前に訪れた所の有無＞



南砺市来訪前に訪れた地域	回答件数
高岡	10 件
白川郷・高山	5 件
富山	5 件
金沢	5 件
氷見	4 件
福井県・滋賀県	3 件
新潟県	2 件
砺波	1 件
小矢部	1 件

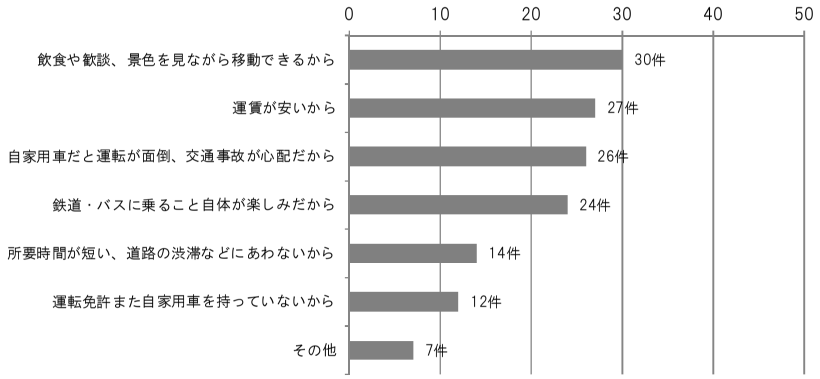
＜南砺市来訪前に訪れた所での主な活動（複数回答）＞



⑩ 公共交通を利用した理由（複数回答）

■ 公共交通を利用した理由は、「飲食や歓談、景色を見ながら移動できる」が最も多くなっており、次いで「運賃が安いから」、「自家用車だと運転が面倒、交通事故が心配」、「鉄道・バスに乗ること自体が楽しみだから」となっています。

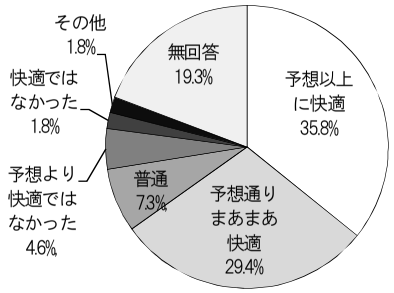
＜公共交通を利用した理由（複数回答）＞



⑪ 公共交通を利用した感想

■ 公共交通を利用した感想は、7割近くが「予想以上に快適」又は「予想通りでまあまあ快適」と回答しているものの、ＪＲ城端線の便数や乗り継ぎなどに不満を寄せる声もみられます。

＜公共交通を利用した感想＞



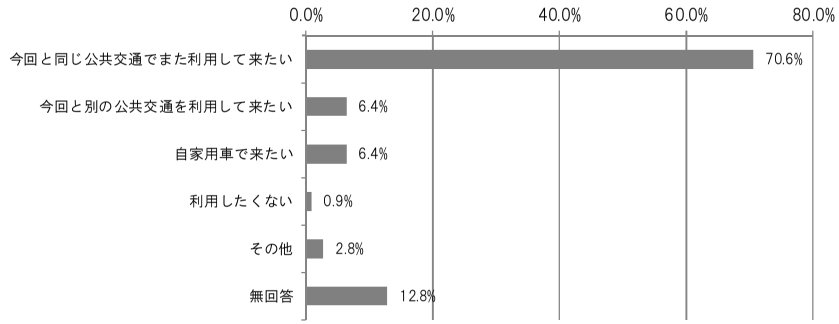
具体的感想一覧
＜ＪＲ城端線・シャトルバス等＞
・日本の鉄道は海外と比べても安全・快適
・新幹線、北陸本線が事故のため遅れあり
・車内で情報交換ができてよい
・ＪＲ城端駅からの交通の便が悪い
・便数少なく不便
・城端駅で降りてからバスがなかなか来ない
・乗り継ぎ時間が悪い
・五箇山シャトルバスの菅沼停留所がわかりづらい。路線バスが菅沼停留所に留まると聞いていたが留まらなく、バスに乗れなかった。
＜イルカ交通＞
・スーパーシート利用でゆったりできました
・グループで申し込むと席が移動できない
・直接五箇山入りできる唯一の公共交通機関で、乗車時間も程良い
・乗り心地が良い。足元が広い
＜加越能バス＞
・のんびり景色を見れた

（３）今後の旅行の意向について

① 今後南砺市へ旅行する際の公共交通の利用意欲

■ 今後南砺市へ旅行する際は、「今回と同じ公共交通でまた利用して来たい」と回答した割合が７割以上と高くなっています。

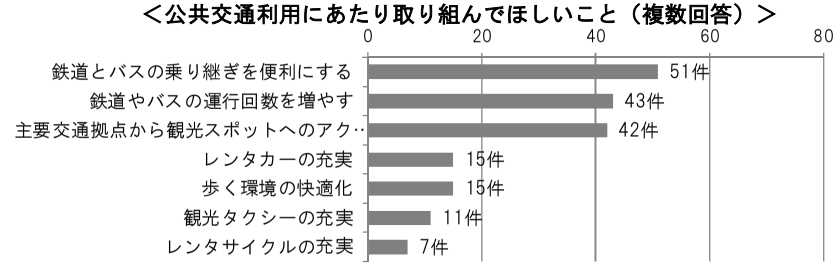
＜今後南砺市へ旅行する際の公共交通の利用意欲＞



② 公共交通利用にあたり取り組んでほしいこと（複数回答）

■ 公共交通利用にあたり取り組んでほしいことには、「鉄道とバスの乗り継ぎを便利にする」が最も多く回答され、次いで「鉄道やバスの運行回数を増やす」、「主要交通拠点から観光スポットへのアクセス」となっています。

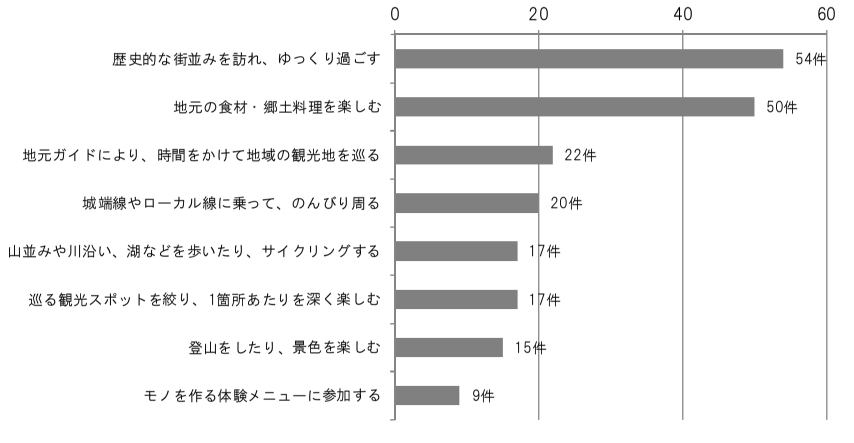
＜公共交通利用にあたり取り組んでほしいこと（複数回答）＞



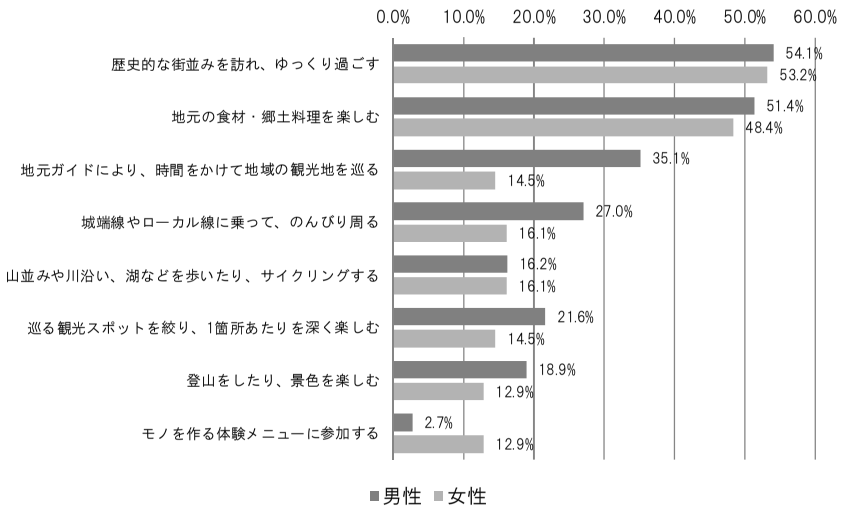
③ 南砺でゆっくり観光する際に体験したいこと（複数回答）

■ 南砺でゆっくり観光する際は、男女ともに「歴史的な街並みを訪れ、ゆっくり過ごす」「地元の食材・郷土料理を楽しむ」といった体験を求める割合が高くなっています。

＜南砺でゆっくり観光する際に体験したいこと（全体件数）＞



＜南砺でゆっくり観光する際に体験したいこと（男女別割合）＞

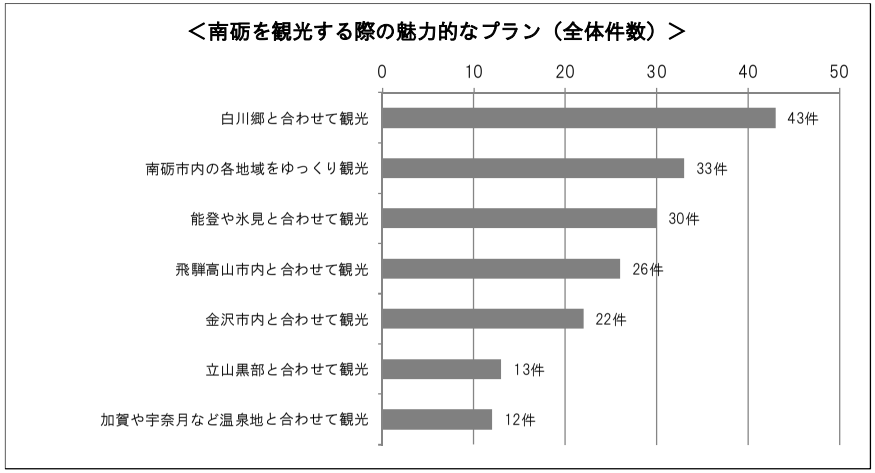


④ 南砺を観光する際の魅力的なプラン（複数回答）

■ 南砺を観光する際の魅力的なプランには、全体として「白川郷と合わせて観光」が最も多く回答されており、次いで「南砺市内の各地域をゆっくり観光」、「能登や氷見と合わせて観光」となっています。

■ 富山県外では、関東地方や近畿・四国・中国地方の回答者が「白川郷と合わせて観光」を、また東海地方の回答者が「能登や氷見と合わせて観光」を最も多く回答しています。

＜南砺を観光する際の魅力的なプラン（全体件数）＞



＜南砺を観光する際の魅力的なプラン（居住地別割合）＞

	全体	富山県内	関東地方	東海地方	近畿・中国・四国地方
白川郷と合わせて観光	20.7%	17.6%	23.2%	21.2%	21.2%
南砺市内の各地域をゆっくり観光	15.9%	26.5%	14.5%	17.3%	12.1%
能登や氷見と合わせて観光	14.4%	5.9%	18.8%	23.1%	6.1%
飛騨高山市内と合わせて観光	12.5%	14.7%	14.5%	5.8%	18.2%
金沢市内と合わせて観光	10.6%	14.7%	10.1%	13.5%	6.1%
立山黒部と合わせて観光	6.3%	2.9%	5.8%	7.7%	12.1%
加賀や宇奈月など温泉地と合わせて観光	5.8%	0.0%	5.8%	9.6%	3.0%

4. リファレンス事業

R リファレンス事業

全３６の具体的事業のうち、まずはじめに実施すべき事業である「スタートアップ事業」９事業については企画プランを作成、また今後の観光振興の鍵となる事業として、さらに力を入れて重点的に進めていく事業については「パワーオン事業」とし、７事業の具体的取り組みを整理しました。

これら以外の２０事業についても、事業主体や実施の内容、想定される効果等の具体的なイメージが持てるように、このうちの５つの事業について、公共・民間の違いを問わず全国の参考となる先例・類似の取り組みをとりあげ、リファレンス事業として整理・紹介します。

R 1. 伝統工芸＋職人の創造と交流の場づくり

南砺市が世界に誇る井波彫刻や五箇山和紙、城端蒔絵などの伝統工芸や、宮大工、茅葺きなどの技術の魅力を継承・発信する一方法として、「南砺男子（仮称）」の一環として、継承者によるツアーの開催などの交流の場の提供や、奥深さをより知ってもらうための体験プログラムの取り組み。

R 2. 北陸飛騨3つ星街道 ★★★ 周遊ルートづくり

ミシュラン社の旅行ガイド「グリーンガイド・ジャポン」で最高評価の3つ星で紹介された、高山や白川郷、金沢との広域連携により、様々なテーマでこのルートを巡ることができるよう、観光資源の発掘や関連団体とのイベントの共催、共同宣伝、マップの作成、二次交通網の整備促進などを進め、広域周遊観光を楽しむことのできる環境を整えます。

R 3. 体験受け入れ施設の充実

農産物の収穫体験や農家への滞在による生活・暮らし体験などの体験型観光の充実を図るための、民家等への受け入れ体制の仕組みづくりや、空き家などの古民家を活用した宿泊施設の整備検討など、受け入れ施設の充実を図る取り組み。

R 4. ウォーキング・サイクリング・トレッキング環境づくり

山～里までの豊かな自然や多様な景色を、より深く味わってもらうためのウォーキングやサイクリングコースの発掘と活用、道宗道を活用したトレッキングの展開・発信、またレンタサイクルの整備、インタープリターによるツアーの展開などの取り組み。

R 5. 城端線で来たくなる環境・交通づくり

今後の城端線の存続や、北陸新幹線の開業による富山・高岡方面からの鉄道による観光誘導も含めて、城端線各駅の魅力化や城端線を活用した観光活動を推進するうえで、参考となる、全国の地方ローカル鉄道の取り組み。

R1

リファレンス事業

対象事業	【情報発信　2－②】　伝統工芸＋職人の創造と交流の場づくり

■参考事例 1　京都市

京都の魅力を支え続けた職人は今―真実を知るツアー

個々に散在していた沢山の情報を、わかりやすく集約・整理し、京都の「文化情報」に特化した情報の検索・発信サイトとして「京都で遊ぼう ART」を立ち上げ、単なる表面的な観光情報のレベルに留まらない、より詳しく深みのある内容を掲載するとともに、京都を舞台に「文化」をキーワードにした、人と人とをつなぐ交流の場を提供しています。

実施主体

主催：京都造形芸術大学プロジェクトセンター
協力：六原自治連合会　　発信：京都で遊ぼうART
企画：近代産業遺産アート再生プロジェクトまか通V

★ポイント★
自治会と大学　等との
連携プロジェクト

実施イメージ

文化が発展していく裏でそれを支える職人。
「東山職人弾丸ツアー」では、東山で活躍している職人さんたちを訪ね、ものづくりの現場や職人の知恵を見学し、日本文化の魅力を見直していく企画。
普通の旅行でも、実際に京都に住んでいても、なかなか職人と直接交流できる機会はなく、市民にとっても京都をより奥深く知ることができるイベントとなっている。

＊いくつかのグループに別れ、陶芸や竹細工など職人も内容も様々なツアーを実施。
＊興味のあるツアーを選んで参加できる。

「京都で遊ぼうART」HPより

■参考事例 2　民間企業

見たことない仕事、見に行こう。～仕事旅行～

現場の人間のみぞ知るしごとの面白さ、深みなど、通常の旅行では触れられない世界への旅を提供しています。
普段とは違う仕事に触れ、その仕事の醍醐味を体感し、新しい世界の扉を開くきっかけや貴重な財産となることを目指している事業ですが、伝統工芸や職人の体験事業として、実際のいつもの仕事場で仕事風景や職人との交流ができるのが特徴です。

★ポイント★
実際の仕事場に
潜入できる！

実施主体

合同会社　仕事旅行社（東京都）

実施イメージ

【仕事見学ツアー　江戸の職人編】
3つの異なる職人の工房に訪問し、それぞれの仕事の内容や仕事に対する想いを聞いたり、簡単な仕事体験も行いながら、仕事の雰囲気を味わう。

仕事見学ツアー例

＊定員数：限定10名
価格：12，000円
□左官職人＠西日暮里
□　銀師＠蔵前
□染物職人＠西早稲田
■交流会＠五反田

「仕事旅行」HPより

R2

リファレンス事業

対象事業	【魅力づくり　1－①】　北陸飛騨3つ星街道 ★★★ 周遊ルートづくり

■参考事例 1　飛騨高山

里山サイクリング＋○○　～飛騨・旅のしおり～

里山サイクリングでは「里山サイクリング＋○○」として、サイクリングのみでなく、食事や温泉郷、合掌造りなどを組み合わせて、よりサイクリングを楽しんでもらうための旅のしおりを＋αで紹介しています。
飛騨高山を拠点としながら、HPでの紹介先は岐阜県内だけでなく、五箇山や八尾、能登まで広げています。

★ポイント★
高山は経験済！という旅行者に様々なコースを紹介→リピーターへ

実施主体　主催：「飛騨里山サイクリング」 株式会社 美ら地球

実施イメージ

1 泊 2 日の週末旅行からゆっくりした里山ステイまで、飛騨古川や高山以外に、さらにひとひねりした過ごし方をあわせて案内している。

「飛騨里山サイクリング」HPより

●古民家で長期滞在してみたい方に
飛騨里山サイクリング ＋ 貸し古民家で里山ロングステイ

1日目　朝、飛騨へ向かい、昼ごろ到着
午後から、飛騨里山サイクリングツアーへ参加
ツアー後、貸し古民家へご案内
2日目
ここから、北アルプスへのハイキング、温泉三昧、能登へ
小旅行など、過ごし方は様々
MTB の長期レンタルも可能！

●都会の喧騒を離れ、デトックスしたい方に
飛騨里山サイクリング ＋ 隠れ家宿でデトックス

1日目　朝、富山空港へ
おわら風の盆で有名な**八尾の町に寄り道**してから、富山春日温泉にあるリバーリトリート雅楽倶へ
2日目　チェックアウト後、約 1 時間半のドライブで飛騨古川へ。午後から、飛騨里山サイクリングツアーへ参加。ツアー後は再び富山方面へ。
氷見直送回転ずしを堪能してから富山空港へ

サイクリング＋α例

■参考事例 2　和歌山県田辺市

『 KUMANO　TRAVEL 』

『KUMANO TRAVEL』は、熊野地方を中心に、紀伊半島南部を広域的にカバーする着地型旅行会社「田辺市熊野ツーリズムビューロー」が運営する旅行提供インターネット＋予約サイト。
熊野ツーリズムビューローは、世界旅行ツーリズム協議会（WTTC）主催「第 12 回明日へのツーリズム賞」の最終選考に日本初でノミネートされるなど、ディスティネーションや地域貢献、グローバルビジネスの発展に努めています。

『モデルコース』のみでなく『セミオーダー』の旅も可能！

★ポイント★
“セミオーダー”可で
自由度を持たせながら、“今しかない、できない”
ツアー等を提供し、
限定感もアピール！

実施主体　一般社団法人　田辺市熊野ツーリズムビューロー

実施イメージ

■現地を知り尽くしたスタッフが作り上げた”モデルコース”の提供のみでなく、
■宿やサービス、オプションツアーを選択してセミ・オーダーの旅を作る
■宿のみ、オプションツアーのみ
の予約も、**インターネットで自由自在**にできるようになっている。

【☆私たちが自信を持ってお届けするオススメプラン☆】

オススメのモデルコース	今、オススメの宿	今、行くならこのツアー	熊野と言えば
高野山と龍神温泉2泊3日	ホテルハーヴェスト南紀田辺	現在募集中の限定ツアー 熊野古道中辺路ルート復興	レストランいっぽう杉 熊野古道特製　腰弁

モデルコース
オススメ1つのみ！

今オススメの宿
1箇所！！

限定ツアー

「熊野ツーリズムビューロー」HPより

R3

リファレンス事業

対象事業	【魅力づくり 2－②】 体験受け入れ施設の充実

■参考事例 1　千葉県館山市・南房総市

『南房総ほっとはなっと』～”暮旅”・暮らすように旅する ～

※「はなっと」は房州弁で「岬の先」「房総半島の南端」の意味

『南房総ほっとはなっと』は、南房総に住む 100 人が知恵とおもてなしの心を 出し合って企画した手作りのイベントで、様々な体験プログラムを通じて“ほっと”な旅を演出しています。

実施主体

主催：：「南房総ほっとはなっと」実行委員会

「地方の元気再生事業(H20)」において、「南房総観光カレッジ」を開設。着地型旅行商品の開発やマーケット分析、マネジメント手法などの観光マネジメント学習プログラムの開発と実践を通して、観光人材の育成を図った。「南房総観光カレッジ」の卒業生有志により「地域コーディネーター会議」を設置し、体験型・着地型旅行商品等を立案・実践し、**35プログラムが商品化**されている。

実施イメージ

「地域コーディネーター会議」にて立案、
実践するにあたって、
企画運営を各該当宿泊施設や NPO 法人等の活動団体、
観光マイスター等へ依頼。

★ポイント★
「南砺里山博」での宿泊を伴う体験型旅の展開

No.23　房州時間
～楽しもう。「海辺の食卓」～

房州のゆったりとした時間の流れと、自然の中で営まれる里海と里山を通じた生活と、またそれらを取り巻く人々との交流の中から新しい生き方を見つけるためのプログラム。南房総館山の海辺の生活に溶け込み、旬の「海辺の食卓」を味わえる。

房州坂田〈ばんだ〉、海と自然と漁のまち。
■1日目　海辺の魚介や野草など地域だけの食材を、地域の人たちと一緒に自分たちで探して、まさに御当地だけの夕食を味わう。
■2日目　漁師さんと一緒に漁師体験、港で魚の仕分けと浜の朝食。南房総の自然や生活の中で、驚きと発見の「海辺の食卓」。普段の日常とは違う「房州の時間」を楽しむ 2 日間。

■集合場所・会場：坂田民宿　八郎平
■参加費　16,000 円(※宿泊費は別途)
■定員　15 名
■申込締切　10 日前まで
■申込・問合せ/**企画運営　NPO 法人 たてやま・海辺の鑑定団**
■宿泊費 4,500 円は当日直接、民宿に支払

担当　○○○○
“たてやま観光マイスター”

★ポイント★
既存の宿泊施設の魅力化

No.19　Sweet Strawberry Stay
～春の房総　イチゴづくしのおもてなし～

滞在中のチェックインからチェックアウトまで、イチゴづくしのおもてなし。
◇部屋には甘い香りのイチゴのティーセット＆スナックを用意。
◇食前酒のイチゴ酒は、房総の造り酒屋 240 年の伝統を守る亀田酒造のもの。
地元産イチゴ使用。
◇デザートにはご自身で作る「簡単イチゴ大福」。
◇天然温泉湯上りには鴨川産イチゴのアイスクリーム。

■集合場所・会場：鴨川館
■参加費　24,300 円～
（夕食は個室料亭「よしだや」にて）
■1日 3 組 6 名様限定プラン
■申込締切　2 日前まで
■申込・問合せ/**企画運営　㈱吉田屋**

＊体験プログラムをセットにした宿泊プラン

『おいしい体験しよう』

「渚の駅たてやま旅情報」HPより作成

歴史的建造物の活用

■参考事例 2　北海道小樽市

『(旧) 岡川薬局（小樽市指定歴史的建造物：昭 5 年建築 木造 3 階建）』

～食べれて、借りれて、泊まれる、まちの縁側～

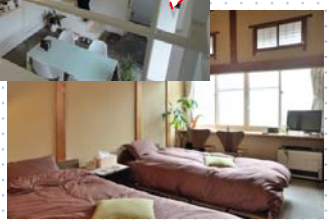
1930 年に建設された小樽の歴史的建造物を、2010 年 4 月から(旧)岡川薬局として営業を開始。
「(食)べれて、(借)りれて、(泊)まれる、まちの縁側。」をテーマに、観光都市小樽における宿泊を軸とした不動産の活用と、文化と経済を意識した新しいビジネスモデルの創出を図っています。

実施主体	OKAGAWA PHARMACY （主に本体で営業しているが、出店者枠もあり）
実施イメージ	「Rent, Eat, Stay」という「場所貸し・飲食・宿泊」を軸に各ユニットごとに様々なサービスを提供し、多様な人達と連携して行く事で、営業利益とコミュニティ醸成を図っている。

■１階 Caffee　２階ゲストハウス
○男女別相部屋 4800 円 / 1 名　2 泊目～　4300 円
○イベント参加後の宿泊　3500 円 / 1 名
○小樽市民の方・通勤、通学されている方　3500 円

■Working Stay　（換）
ワーキングステイ制による「宿泊費」と「労働」の交換
○ 一日 4,5 時間の手伝いで宿泊が無料（1 日 2 名まで）
＜ワーキングステイ条件＞
・18 歳～35 歳。
・一日 5 時間程度の労働。時間帯は要相談。
・主な仕事は掃除や洗濯、Cafe White の手伝い等
・3 日～1 か月の場合のみ受け入れ。
・1 週間以上滞在の場合は、週 1 日休日

★ポイント★
【交流拠点と宿の一体化】
カフェやライブ･イベントなど
市民の活用も促進



「(旧)岡川薬局」HPより

■参考事例 3　ドイツ・ベルリン

『Plus One Berlin』～地元民だからこそわかる本物の魅力を伝えたい～

ベルリンで最も活気のあるエリア Kreuzkölln 地区の中心にある賃貸マンションを、地元ガイド付きの宿泊施設に改修。2012 年 3 月にオープン。
宿の中でいかに快適に、満足して過ごしてもらうかだけでなく、宿の”外”でも、いかに街を満喫してもらうか、またベルリンで暮らすことを考えている人に、ベルリンの本当の魅力を感じてもらうことに焦点を当てています。

実施主体	Plus One Berlin
実施イメージ	【28人の地元ガイドたちの紹介＆ Facebook】

★ポイント★
【宿泊場所】と
【観光アドバイス･旅の友】
を兼ねる

＊2～3泊　120 ユーロ～
（宿泊費の中にガイド料を含む）
＊ガイドは知識･情熱のある選ばれた住民で、異なる国籍や職業からなっています。

「Plus One Berlin」HPより

■ホームページから予約可能で、予約するとページにログインすることができ、ガイドたちのフェイスブックや twitter 等を見て、ゲストはその中からガイドを選べる。
■１時間以内でも、３～５時間の長時間でも、マンツーマンで好きなときに街を案内してもらうことができる。
■おすすめの場所への案内や、その街・国について話を聞くこと、一緒にご飯を食べに出かけることができる。

R4 リファレンス事業

対象事業	【魅力づくり 2－③】 ウォーキング・サイクリング・トレッキング環境づくり

■参考事例 1　飛騨高山

飛騨里山サイクリング

美しい日本の里山をめぐるスローなガイドツアーで、観光地の外にある静かな農村風景や点在する古民家をガイドと一緒に訪ね、飛騨の人々の暮らしに触れる、いつもの観光とは違うちょっと贅沢なサイクリングとして、季節や折々の風物と合わせたツアーを提供しています。

★ポイント★
サイクリングを通して、
他の取り組み・事業との
展開が期待できる

実施主体

主催：「飛騨里山サイクリング」 株式会社 美ら地球

実施イメージ

ツアー例

「冬の朝を感じる、スタンダードツアー」や「男前大工とめぐる、古民家サイクリングツアー」など、宿泊を促進するものや、リピーター、定住者に向けて積極的に展開している。

今旅の案内人

『男前大工とめぐる、
古民家サイクリングツアー』

＊「南砺男子（仮称）による
PR・案内作戦」
の事業展開イメージのひとつ

ツアー名	男前大工とめぐる、古民家サイクリングツアー
場所	飛騨高山エリア 岐阜県飛騨市古川町弐之町8-11
日時	2012年11月25日(日) 10:00
スケジュール	09:50 飛騨里山サイクリング受付集合。申込書記入など 10:00 セーフティレクチャー後、ツアースタート!農村集落を中心に古民家をめぐります 12:30 町なかにもどり、町屋のカフェへ。みんなでランチをいただきます。 13:30 ツアー終了
料金	7,000円/おひとりさま ※ 町屋のランチ込み

『冬の朝を感じる、
スタンダードツアー』

＊「“オール南砺”
宿泊プログラムの開発」
の事業展開イメージのひとつ

ツアー名	冬の朝を感じる、スタンダードツアー
場所	飛騨里山サイクリング受付 岐阜県飛騨市古川町弐之町8-11
日時	2012年11月19日(月) ～ 2012年12月23日(日)
スケジュール	08:50 飛騨里山サイクリング受付に集合 09:00 ツアー開始!冷たい空気を切って、のんびりと農村集落を走ります。 12:30 ツアー終了。ランチの場所が決まっていない場合は、スタッフがオススメの場所をご案内させていただきます。

「飛騨里山サイクリング」HPより

■参考事例 2　長野県 関田山脈の総延長 80km

～　信越トレイル　～

かつてあった古道や国有林の管理道を人力で復元し、平成 20 年 9 月に信越トレイルとして全線開通。持続的なトレイルの利用を目指し、開通後もボランティアを中心として整備活動・維持管理がなされています。

また、トレイルの利用に偏ることなく、自然環境調査や教育機関を対象とした環境啓発活動など、整備活動と並行して里山の自然環境の保全活動も実践しています。

実施主体　NPO法人　信越トレイルクラブ

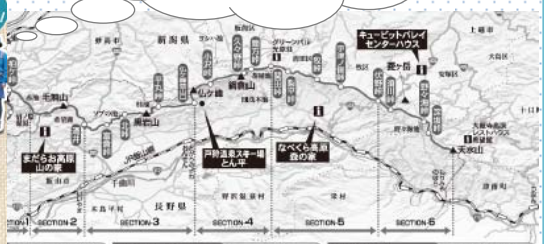
★ポイント★
『道宗道』等の今後の観光展開

実施イメージ

【信越トレイルトレッキングツアー 】

毎年 6 月～11 月まで、信越トレイルを楽しく手軽に楽しめるトレッキングツアーを開催。信越トレイル全線 80km を 6 つのセクション（区間）に分けて、少しずつ歩ける日帰りトレッキングツアーを提供。都合の良い日程で参加できるの で、体力に合せたり、季節を変えたりしながら参加できる。

＊アピール！！
信越トレイルの魅力は、
ガイド付でこそ楽しめる。



★ポイント★
『全線踏破証』や
『公式ガイドブック』の発行など
リピーター増の仕掛け

■宿に泊まって歩こう　トレイルショートツアー

戸狩観光協会加盟宿に開催日の前日又は当日にご宿泊されるお客さまがご参加頂ける、参加費無料のツアーです。

宿オーナーや女将達と一緒にふれあい、秋の里山をトレッキング（伏野峠～野々海峠）。　歩く時間に余裕を持たせた、ゆったりショートツアーで心も体もリフレッシュ。

【信越トレイルクラブ加盟宿泊施設 】

信越トレイルクラブでは、おすすめの宿として、クラブの理念に賛同しトレイルメンテナンス活動等にも参加してもらっている宿泊施設を、信越トレイルの情報にも詳しく、より快適なトレッキングを提案してくれる宿として、宿泊を推奨している。

＊これらの宿の多くは最寄の駅や信越トレイルまでの送迎もサービスで行っている

【STC（信越トレイルクラブ）登録ガイド】

信越トレイルクラブでは、登録条件を満たし活動の趣旨に賛同している方を、ガイドとして登録し、利用者とこの地域を本当の意味で結びつける重要な役割と位置づけている。

■STC 登録ガイド派遣料（ガイド１名に対して）
　半日(4 時間以内)　￥10,000　　１日（８時間以内）　￥15,000
■ガイドレシオ（ガイド１名に対して、案内可能利用者１０名以内）

「信越トレイルオフィシャルサイト」HPより

R5

リファレンス事業

対象事業	【おもてなし　3－②】　城端線で来たくなる環境・交通づくり

■参考事例 1　和歌山市

～和歌山電鐵　貴志川線～

「あっとおどろくプロジェクト構想」として、「いちご電車（H18）」「おもちゃ電車（H19）」「たま駅長（H19）」などの話題ある電鉄のあり方を提供し、多くの観光客を集めています。

また貴志川線を支援する任意団体として、平成 15 年に南海電鉄が貴志川線の廃線意思を表明したことを受け発足した「貴志川線の未来を“つくる”会」は、沿線住民サポーターからなり、平成18年から「貴志川線祭り」など各種イベントを開催しています。

★ポイント★
沿線住民の支援

実施主体	和歌山電鐵株式会社 支援団体：貴志川線の未来を“つくる”会（沿線住民サポーター）
実施イメージ	「たまミュージアム貴志駅」 ＊貴志川線まつりにおいて、「あと4回多く乗って永続させよう」を合い言葉に行われている、駅近隣会場での鉄道系の展示やイベント **★ポイント★** デザイン電車 ・駅舎改築等による観光客の増加 「和歌山電鐵株式会社」 「貴志川線の未来を“つくる”会」HPより

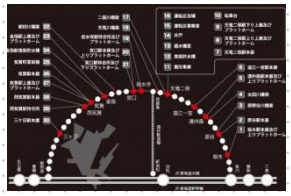
■参考事例 2　静岡県浜松市

～天竜浜名湖鉄道　天浜線～　日本の原風景に出逢う旅。

天竜浜名湖鉄道は、2010 年に全線にわたって国の登録有形文化財に登録され、25 周年の銀婚式列車の走行や文化財列車の実施など、天浜線による観光振興に取り組んでいます。

また天浜線の支援団体として「天浜線サポーターズクラブ」があり、沿線での各イベントや沿線マップづくり等を行っています。

★ポイント★
駅舎や車体等ハードの改変がなくても、HP・Map・イベント等の充実による盛り上げ

実施主体	天竜浜名湖鉄道株式会社 支援団体：天浜線サポーターズクラブ
実施イメージ	**【天浜線を利用する旅の提供と発信】** ・浜松ホームページコンテスト 2010 受賞や、『天浜線沿線をくまなく歩く』ウォーキングコース MAP など、発信に力を入れている。  天浜線 動画ギャラリー 「天竜浜名湖鉄道株式会社」HPより

5. 観光統計調査手法検討資料

（１）アンケート調査の必要サンプル数

総務省統計局監修「統計実務基礎知識」より、アンケート 1 回あたりの必要サンプル数を以下のように算定します。

$$n = \frac{\lambda^2 \times p \times q}{d^2}$$

n：標本数
d：標本誤差
λ：信頼水準によって定まる値
p：当該比率(賛成者の比率)
q：1ーp（反対者の比率）

ここで、上記の式のうち、λは推計結果の信頼水準によって定まる値で、
λ＝１のときは、信頼水準が 68%
λ＝２のときは、信頼水準が 95%
λ＝３のときは、信頼水準が 99.7%　　となります。

一般の場合は、信頼水準 95%となるλ＝２の値を使用します。
p、q の回答者比率は、通常 p×q が最大となる値（0.5×0.5=0.25、つまり p、q ともに 0.5）を使用します。

d の標本誤差（サンプリング誤差）は、5%と仮定します。

これらを算出式に入れると、

$$\text{標本数} = \frac{2^2 \times 0.5 \times 0.5}{0.05^2} = 400$$

ゆえに、調査結果の誤差を 5%以内に収める場合の**最低必要サンプル数**は、400 となります。

（2）観光統計調査手法比較表

検討項目			共通基準	参考事例（＊共通基準と同じ手法・条件の場合は ○） 高山市の例（ヒアリング）	推奨案	調査基準（案）：南砺市推奨 共通基準を採用：● 高山市を採用：高山　その他：▲	推奨理由	課題
A 入込客数調査	調査対象		以下要件の全てを満たす観光地点 （行祭事・イベントは②,③） ①非日常利用が多いこと ②観光入込客数が適切に把握できる地点 ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、 または前年の特定月の観光入込客数が5千人以上	○ ＋ ①市独自で選定の観光地点 ②市内全ての宿泊施設 （宿泊施設回収率約60%）	高山	＋ ①市独自で選定の観光地点 ②市内全ての宿泊施設	・現在既に行われている調査地点に、五箇山総合案内所等、新たな観光地点を追加する ・宿泊観光入込客数を把握する上で、最も確実な数字として市内全宿泊施設によるカウント調査を依頼する	・宿泊施設の協力体制を構築 ・宿泊施設には調査結果概要版を配布する
	集計方法		・観光地点は管理者報告（毎月ごと） ・行祭事・イベントの人数は主催者報告（終了時）	○ ＋・イベント入込数は交通量や駐車場台数調査も活用 ・宿泊客数は、宿泊施設からの報告（四半期ごと）	●	・観光地点は管理者報告（毎月ごと） ・行祭事・イベントの人数は主催者報告（終了時） **＋・宿泊施設からの報告（四半期ごと）**		
B 観光地点パラメータ調査	調査方法	①面接調査	主：観光地点での調査員による面接調査（各地点約2名）：（補足調査として宿泊施設での留置調査、交通施設での面接調査等）	補：観光地点での調査員による面接調査	▲	主：観光地点での調査員による面接調査	・データの信頼性の確保のため面接調査を行う	・調査費用、労力がかかる ・回答者へインセンティブ等の粗品の検討
		調査周期	四半期ごとに1日（年4回）	年1回		四半期ごと		・費用、人員等を勘案して実施周期を検討
		②留置調査	―	―		主要な観光施設等での留置調査	・データの信頼性の確保のため留置調査を行う	
		調査周期				通年		
		③郵送調査	―	主：アンケートハガキによる調査（パンフレット請求者等に配布） ＊回収率約16%（平成23年度実績）		補：アンケートハガキによる調査（パンフレット請求者等にアンケート返信ハガキを配布）	・回収率が低いとサンプル数は多く望めないが、補足調査として実施	
		③インターネット調査	―	補：インターネットのHP上でアンケート調査		インターネットのHP上のアンケート調査	・データ化されているため、集計が容易	・アンケートシステムの構築
	調査事項		■観光客自身の情報（居住地、性別、年齢） ■観光内容（日帰り・宿泊種別、宿泊施設、旅行目的、同行者数、観光地の訪問回数、訪問観光地点名、利用交通機関、観光消費額単価）	○ ＋ イメージ・印象、観光情報源、宿泊施設・観光施設等の満足度	●	＋県実施項目 （情報源、魅力、満足度、再訪意欲）	・統計推計として必須事項以外に、来訪者の満足度・具体的意向等を把握することにより、今後の交流観光まちづくりに活かす。	
	調査サンプル数		3,000サンプル以上／回×四半期 （1地点300×10地点）	約3,000サンプル（はがきアンケート）	▲	400サンプル以上	・標本誤差・信頼水準等の条件より、各調査の1回あたりの必要サンプル数を400と算定	・サンプルの回収実績に応じて調査方法の拡充を検討
	調査地点		観光地点10地点以上 （行祭事・イベントは調査対象外）	―		4地点：五箇山・城端・井波・福野		・観光案内所のある市内4地点
C 統計量の推計方法	①観光入込客数	日帰り観光	（A 観光入込客数合計）×構成比 ／（B 平均訪問地点数）	（A 観光入込客数合計） －（宿泊客数＋ 市独自推計値） ＊共通基準策定以前より実施しているため	●	（A 観光入込客数合計）×構成比 ／（B 平均訪問地点数）		・調査のサンプル数の確保が不十分だと信頼水準が変動
		宿泊観光	（宿泊観光入込客数：観光庁データ） ／（B 平均利用宿泊施設数） ×（B 実家・キャンプ場等利用補正係数）	（A 宿泊施設カウント調査） ／（B 平均利用宿泊施設数） ×（B 実家・キャンプ場等利用補正係数）	高山	（A 宿泊施設カウント調査） ／（B 平均利用宿泊施設数） ×（B 実家・キャンプ場等利用補正係数）	・観光地点等入込客数調査のデータを活用することで、精度向上を図る。	
	②観光消費額単価		B調査結果から推計 （同行者数と観光地点の入込客数で加重平均）	○ ×（高山市独自の推計値）	●	B調査結果から推計		
	③観光消費額		（A 観光入込客数）×（観光消費額単価）	○	●	（A 観光入込客数）×（B 観光消費額単価）		
公表周期			四半期ごと	年1回	高山	年1回	・調査は年度でなく年（1～12月）で行い、2～3月で集計。公表は4月を予定。	・職員の異動や予算編成の時期等を考慮
調査に係る人員等について			①調査集計・ﾃﾞｰﾀ入力：約8人（2人×2ヶ月×四半期） ②面接調査：約80人（2人×10地点×1日×四半期）	①調査集計・データ入力：市職員1人（11人中）で担当 ②面接調査実施：シルバー人材に委託	▲	①市に統計調査担当を設置検討　もしくは、 ②外部協力委託を検討		・調査方法や集計方法を確立するまで人員要
その他				・昭和45年より独自の手法で統計調査を実施 ・調査結果は、「統計資料」として毎年600部製本。 ・宿泊施設従業員を対象として「おもてなし研修」を実施し、アンケート結果の報告・反映を図っている。		・調査結果は「統計資料」として毎年製本 （部数は要検討） ・観光、宿泊施設関係には概要版を配布するとともに、報告研修会を実施し、調査結果の反映を図る。		

6. 観光統計調査票

調査票については、平成21年12月に国土交通観光庁により施行された「観光入込客統計に関する共通基準」で示されている調査項目等を基準として、次項の通りに設定しました。

南砺市観光客動態調査

【Q1】あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。また、富山県にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

（都道府県名：　　）　　海外の場合（国名：　　）

富山県の場合

→（市町村名　　）

【Q2】あなたの性別、年齢を選んで下さい。※それぞれ１つだけ

性別　：　１．男性　　２．女性

年齢　：　１．10 歳未満　２．10 歳代　３．20 歳代　４．30 歳代　５．40 歳代
６．50 歳代　７．60 歳代　８．70 歳代　９．80 歳以上

【Q3】今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。※１つだけ
宿泊であれば、何泊か、その内南砺市内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。
また、市内ではどのような施設に宿泊するかをご記入下さい。※いくつでも

１．日帰り　２．宿泊

→宿泊数　　泊　→　そのうち市内　　泊　⇒　市内宿泊施設数　　施設

宿泊した施設の数

＜市内宿泊施設＞

１．実家や知人・親戚宅　２．旅館　３．ホテル　４．ペンション・民宿
５．保養所・研修所　６．キャンプ場　７．(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊
８．別荘・リゾートマンション　９．会員制の宿泊施設　10．その他

【Q4】今回の旅行の主要な目的は何ですか。※１つだけ

１．ビジネス　２．観光　３．帰省・知人訪問　４．(１～３のどれでもない)その他

【Q5】あなたも含めて、何人での、どなたと一緒の旅行ですか。※子供や乳幼児も含む

（　　）人

２人以上の場合

→１．家族　２．友人　３．職場・学校等の団体旅行　４．その他

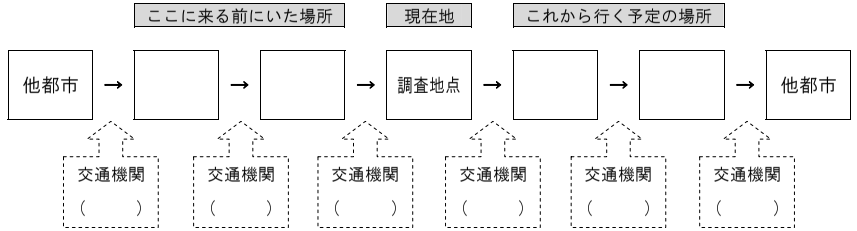
【Q6】ご一緒のみなさん全員の、今いる観光地の訪問が何回目かご存じですか。　※回答の合計はＱ５と一致

１．知らない　２．知っている　→　１回目の人数（　　）人、２回目の人数　（　　）人
３回目の人数（　　）人、４回目以上の人数（　　）人

【Q7】（市外にお住まいの方のみお答えください）
ご一緒のみなさん全員の、南砺市の訪問が何回目かご存じですか。　※回答の合計はＱ５と一致

１．知らない　２．知っている　→　１回目の人数（　　）人、２回目の人数　（　　）人
３回目の人数（　　）人、４回目以上の人数（　　）人

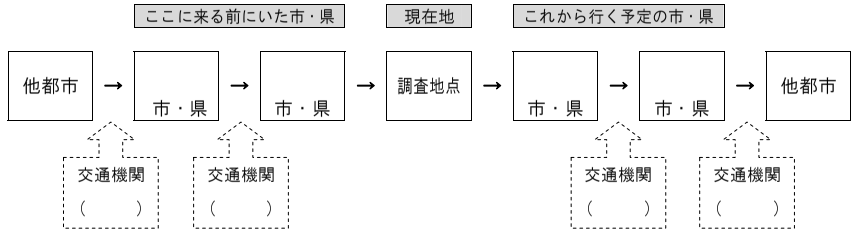
【Q8】今回の旅行で訪れた市内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。※観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。
また、本市に訪れる前・後に立ち寄った（立ち寄る予定の）市または都道府県があればご記入下さい。



【表】交通機関

①ＪＲ在来線	②貸切バス・観光バス	③高速バス	④市内バス
⑤タクシー・ハイヤー	⑥レンタカー	⑦自家用車、社用・公用車	⑧その他

南砺市以外に立ち寄る市または都道府県がある場合はご記入ください



※交通機関は上表から選択

【Q9】今回の旅行で、使う費用（これから使う予定も含めて）を教えて下さい
１人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。
※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、市内・市外分を分けて記入
※ 今回の旅行がパック旅行である場合、費用が市内のみか、市外分を含むかを選択
※ □←表内の回答がグループ合計の場合にはチェック

	使用費用	使用費用
①交通費	（市内分）　円	（市外分）　円
②宿泊費	（市内分）　円	
③土産代	（市内分）　円	
④飲食費	（市内分）　円	
⑤入場料	（市内分）　円	
⑥その他	（市内分）　円	
⑦パック料金		□市内分のみ　もしくは　□市外分含む

【Q10】今回の旅行の情報源となった観光情報の入手先は何ですか。（主なものを一つだけお答えください）

1．テレビ・ラジオ　2．新聞　3．雑誌　4．ポスター・パンフレット　5．旅行代理店
6．インターネット　7．一度来てよかったから　8．友人や家族の口コミ
9．その他(　　)

【Q11】南砺市の魅力は何だと思いますか。（複数回答可）

1．自然　2．食べ物・料理　3．温泉　4．歴史（名所・旧跡）　5．伝統・まつり
6．おもてなし　7．その他(　　)

【Q12】今回の南砺市内の旅行での満足度をお答えください。（該当するもの一つに○）

	大いに満足	満足	普通	不満	大いに不満
①市内の交通機関(鉄道・ﾊﾞｽ・ﾀｸｼｰ等)について	1	2	3	4	5
②情報発信(ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ・案内所等)について	1	2	3	4	5
③接客(おもてなし)について	1	2	3	4	5
④宿泊について(宿泊者の方のみ)	1	2	3	4	5
⑤お土産品について	1	2	3	4	5
⑥食べ物・料理について	1	2	3	4	5
⑦観光施設・観光資源について	1	2	3	4	5
⑧今回の旅行全体(市内)の満足度について	1	2	3	4	5

【Q13】Q12 で、「大いに満足」、「満足」、「不満」、「大いに不満」と答えた方はその理由を、「普通」と答えた方は南砺市の観光について自由なご意見をお聞かせください。

【Q14】南砺市での観光の魅力度を一層高めるためには、どのような事が必要と考えますか。（複数回答可）

1．白川郷や高山、金沢などの周遊地との移動がしやすい交通手段の充実
2．白川郷や高山、金沢などの周遊地と連携した情報発信　3．体験型観光メニューの充実
4．テーマ別のモデルコースの充実　5．連泊すると安くなるなど宿泊施設のサービス充実
6．その他(　　)

【Q15】南砺市へまた来たいですか。また、その理由をお聞かせください。

1．ぜひまた来たい　2．機会があればまた来たい　3．あまり来たいと思わない　4．もう来ないと思う　5．わからない
＜理由＞

【Q16】この観光地（調査地点：　　）について、自由なご意見をお聞かせください。

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

調査員記入欄	調査地点名
	調査年月日　年　月　日
	調査時刻　(　：　)

別紙　＜南砺市内観光地リスト＞

世界遺産	植物園
1. 相倉合掌造り集落	13. 園芸植物園
2. 菅沼合掌造り集落	**スキー場**
寺社・仏閣	14. IOX-AROSA
3. 井波別院　瑞泉寺	15. たいらスキー場
4. 城端別院　善徳寺	16. タカンボスキー場
美術館	17. スノーバレー利賀（廃止予定）
5. 瞑想の郷	18. 閑乗寺スキー場（廃止予定）
6. 光徳寺	**自然**
7. 福光美術館	19. 桜ヶ池
博物館	20. 桂湖
8. 城端曳山会館	
9. 井波彫刻総合会館	
記念・資料館	
10. そばの館	
11. 棟方志功記念館愛染苑	
12. 五箇山和紙の里	